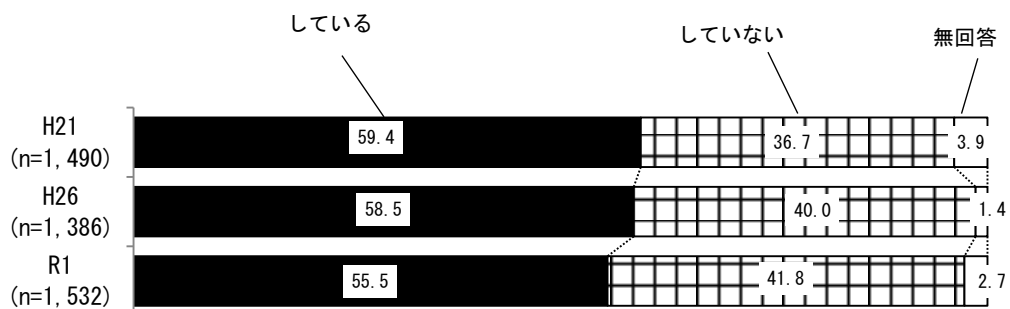


5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

（1）仕事の有無

問 13 現在、仕事をされていますか。【○印は1つ】

【図表 13-1 仕事の有無】



◆回答者のうち、仕事をしている人が6割程度

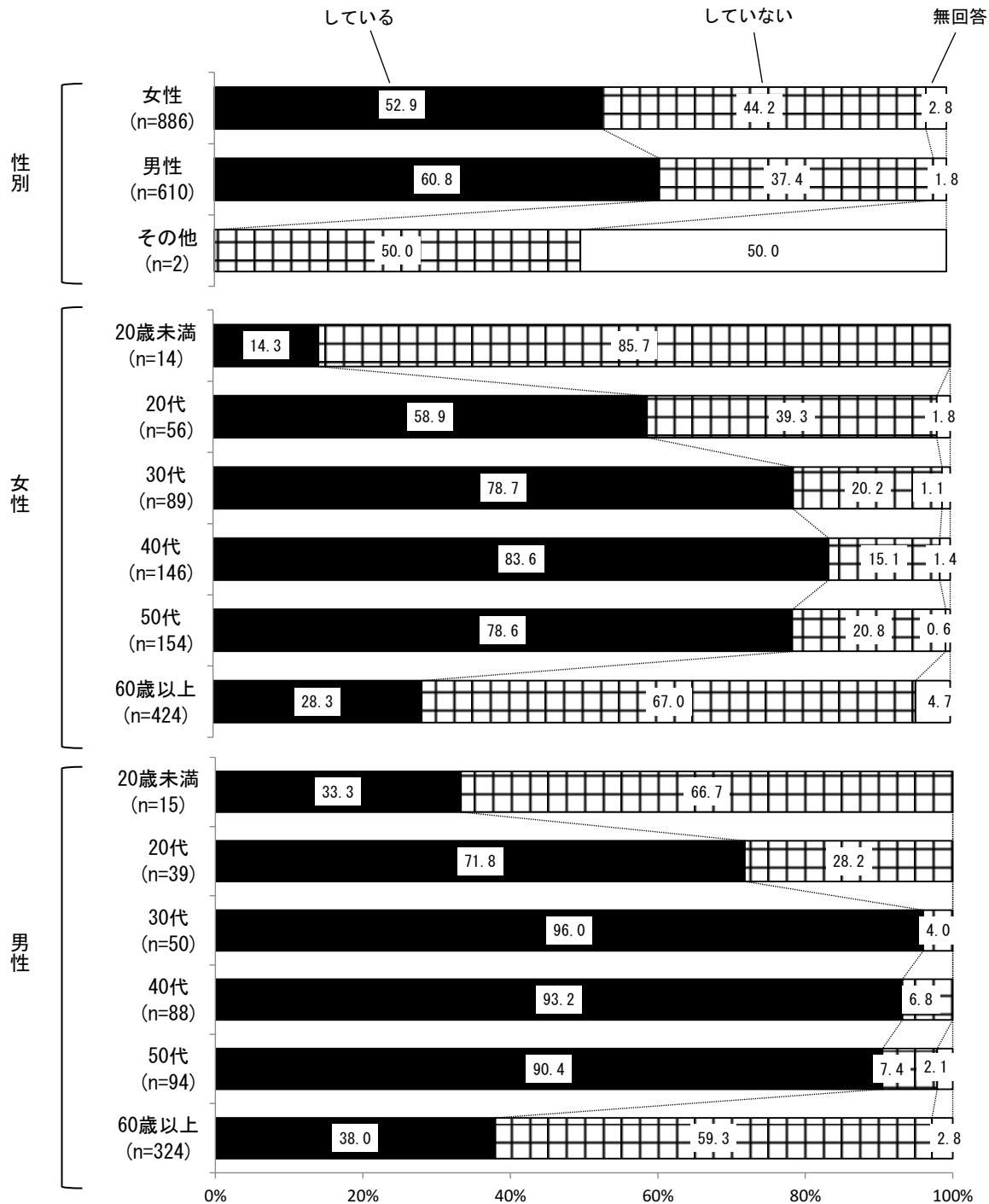
仕事の有無について、仕事をしている人は55.5%で、していない人(41.8%)を13.7ポイント上回っている。

<性別、性・年齢別>

性別にみると、仕事を「している」は男性（60.8%）が女性（52.9%）を7.9ポイント上回っている。

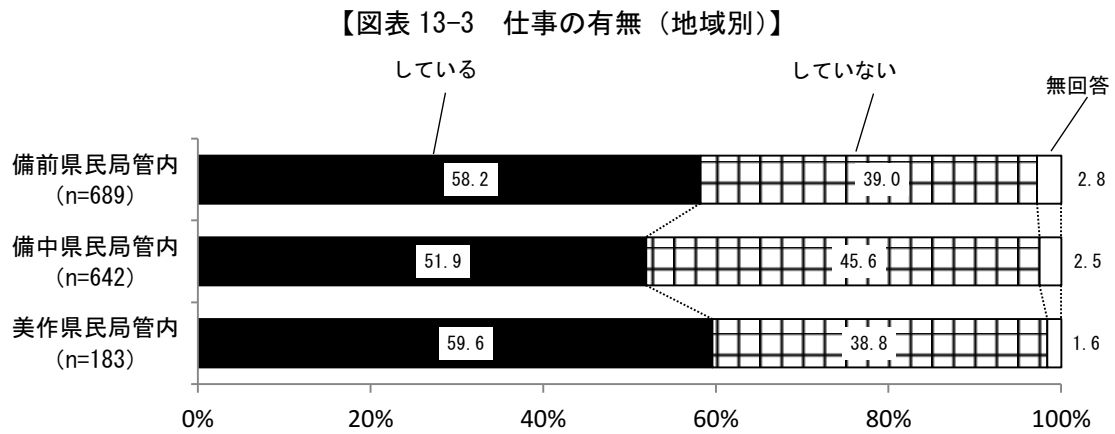
性・年齢別にみると、女性は30代、40代、50代で7割以上が仕事をしているが、男性は、30代、40代、50代で9割以上が仕事をしている。

【図表 13-2 仕事の有無（性別、性・年齢別）】



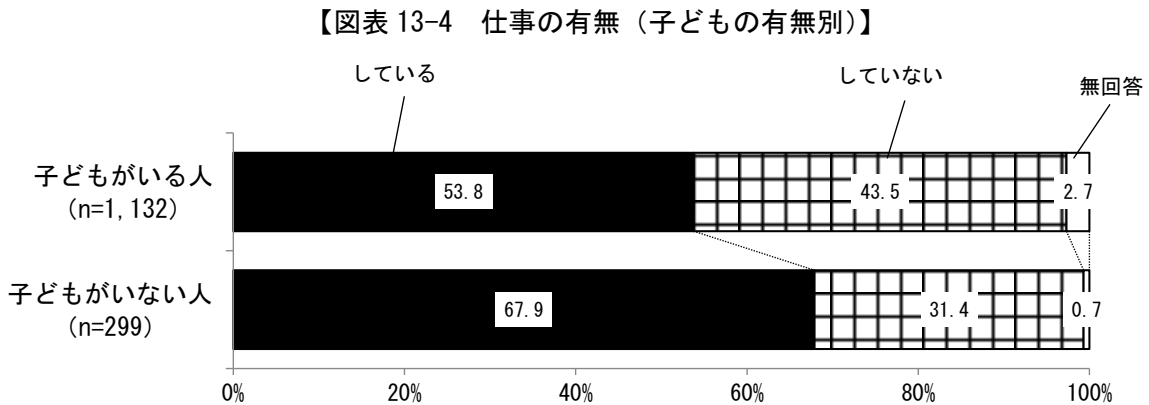
<地域別>

美作県民局管内は仕事を「している」(59.6%)が最も高く、備中県民局管内(51.9%)を7.7ポイント上回っている。



<子どもの有無別>

子どもの有無別にみると、子どもがいる人は子どもがいない人と比べて、「している」が14.1ポイント低くなっている。

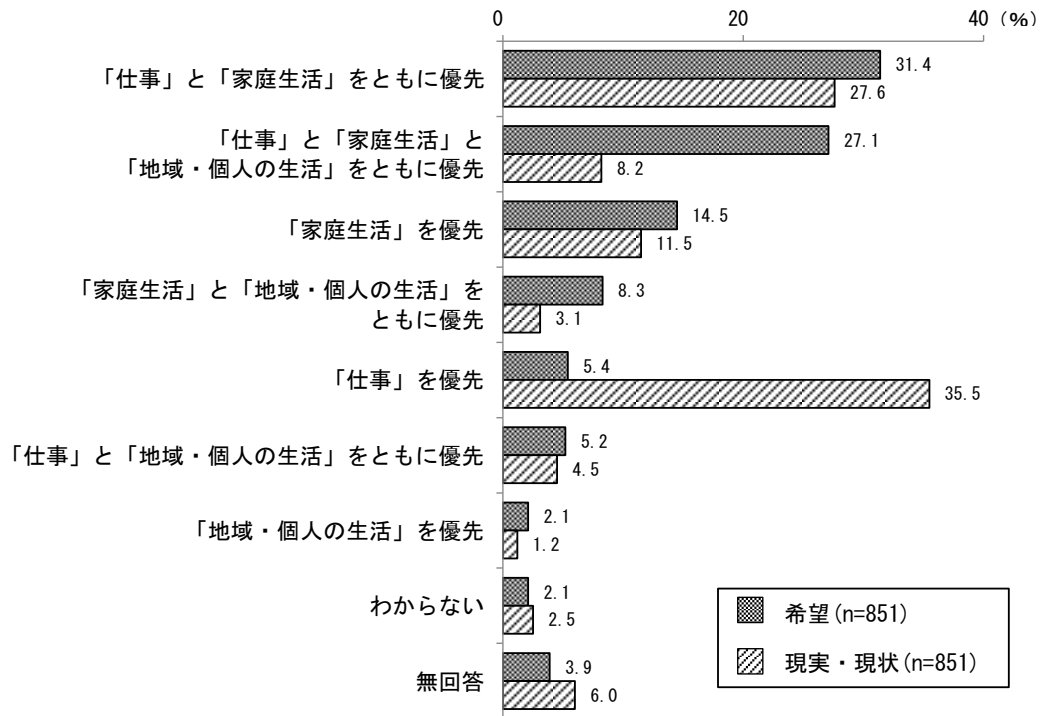


(2) 就労している人の日常の優先度<希望と現実・現状>

問13で、「1. している」と答えた方のみお答えください。

問14 日頃の生活における「仕事」、「家庭生活」、地域活動・近所づきあい・スポーツ・趣味の活動・社会貢献活動などの「地域・個人の生活」の優先度についておたずねします。「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、希望と現実・現状に最も近いものを1つ選んでください。【○印は1つ】

【図表 14-1 就労している人の日常の優先度<希望と現実・現状>】



◆仕事をしている人の日常の優先度の希望は『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』だが、現実・現状では『「仕事」を優先』仕事をしている人の日常の優先度の希望について、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が31.4%と最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』(27.1%)、『「家庭生活」を優先』(14.5%)などの順となっている。また、仕事をしている人の日常の優先度の現実・現状について、『「仕事」を優先』が35.5%と最も高く、次いで『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』(27.6%)、『「家庭生活」を優先』(11.5%)などの順となっている。

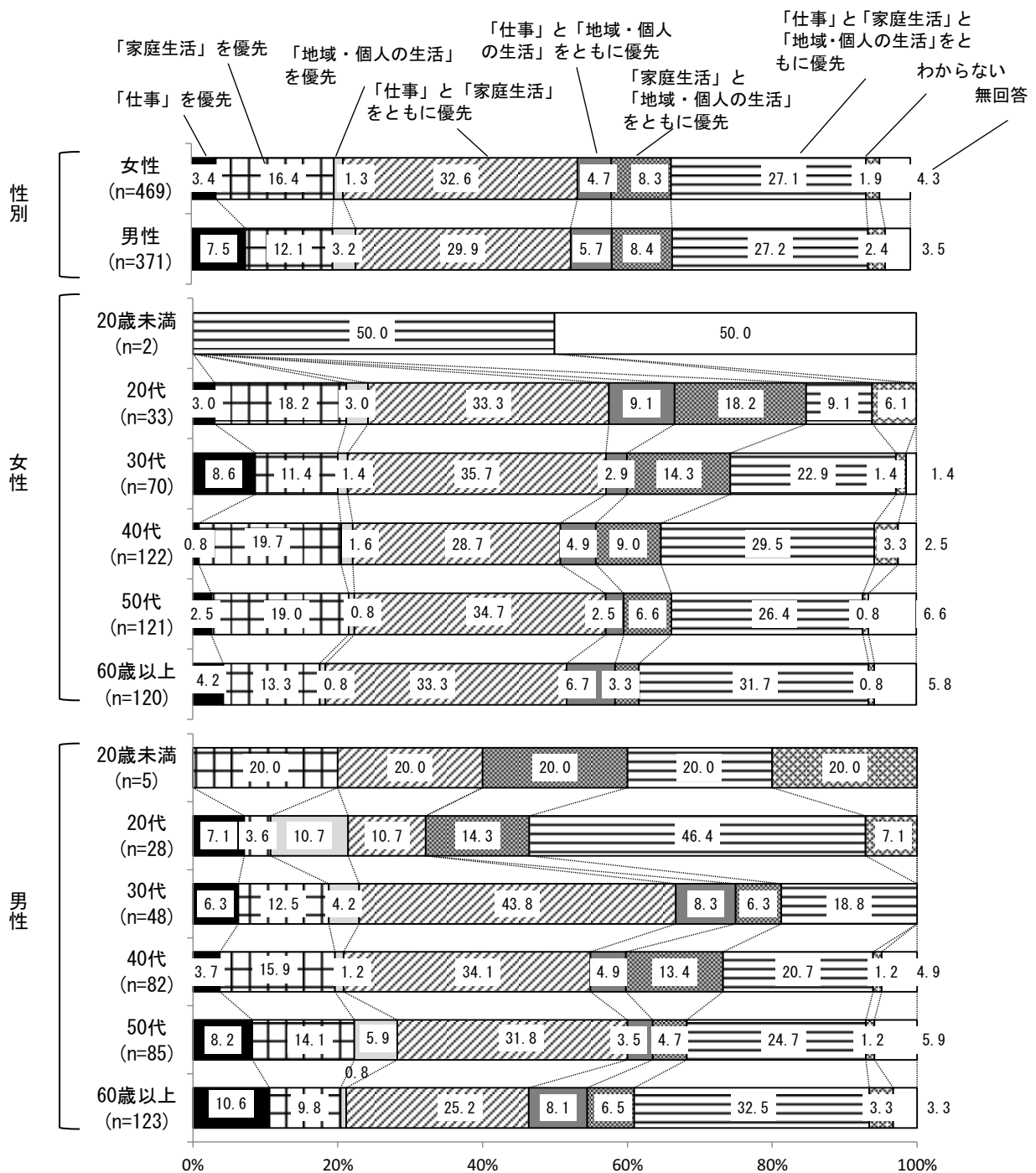
ア就労している人の日常の優先度<希望>

<性・年齢別>

性別にみると、男女ともに『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』（女性：32.6%、男性：29.9%）が最も高くなっている。また、『「家庭生活」を優先』は女性(16.4%)が男性(12.1%)を4.3ポイント、『「仕事」を優先』は男性（7.5%）が女性（3.4%）を4.1ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は20歳未満、20代を除くすべての年代で『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』が2割以上となっている。男性は30代で『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』、20代で『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』が4割を超え、最も高くなっている。

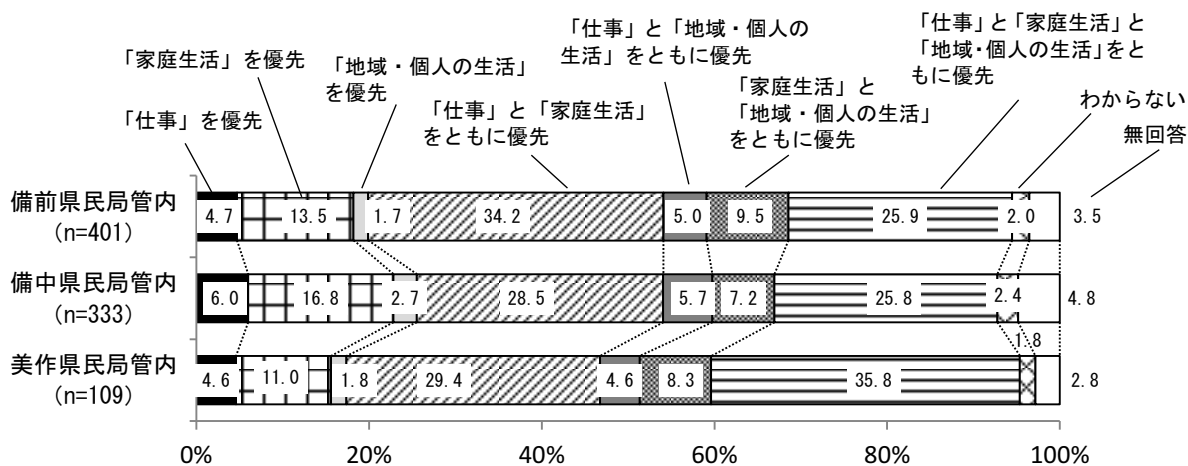
【図表 14-1-1 就労している人の日常の優先度<希望>（性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』が3割前後となっている。備中県民局管内は、『「家庭生活」を優先』が他の地域と比べ、高くなっている。

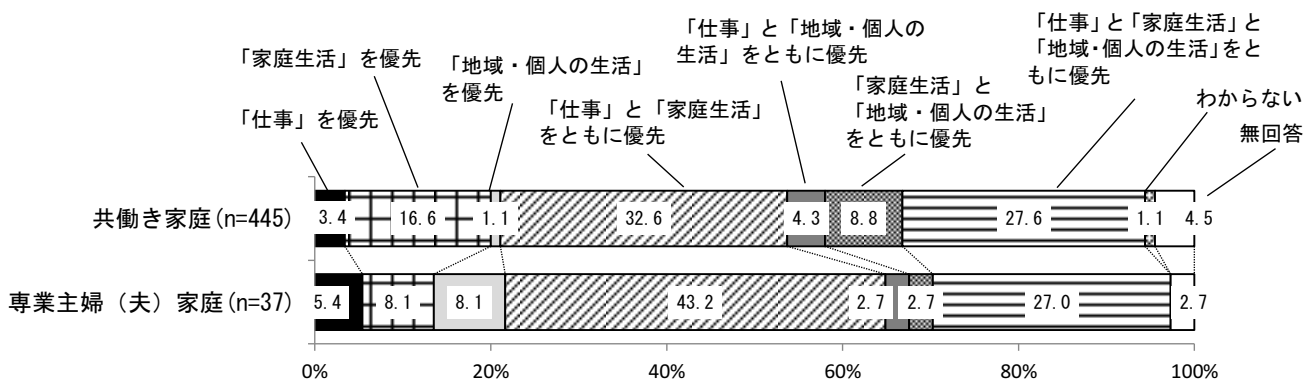
【図表 14-1-2 就労している人の日常の優先度<希望> (地域別)】



<就労状況別>

就労状況別にみると、共働き家庭は専業主婦（夫）家庭と比べて、『「家庭生活」を優先』が8.5ポイント高くなっており、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が10.6ポイント低くなっている。

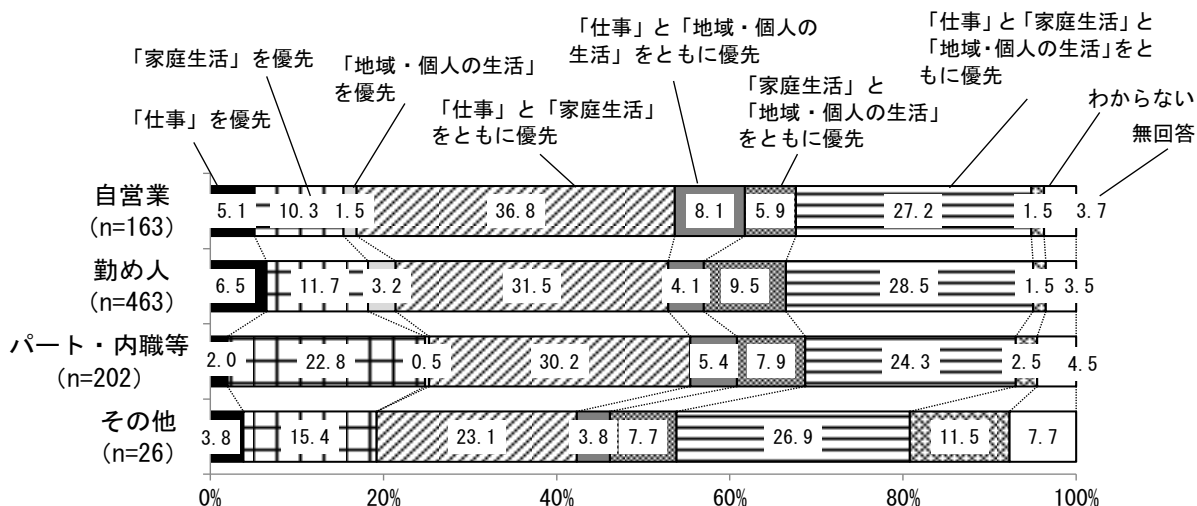
【図表 14-1-3 就労している人の日常の優先度<希望> (就労状況別)】



<職種別>

職種別にみると、その他以外の職種で『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』が3割を超えと最も高くなっている。また、パート・内職等では『「家庭生活」を優先』が他の職種と比べておよそ10ポイント程度高くなっている。

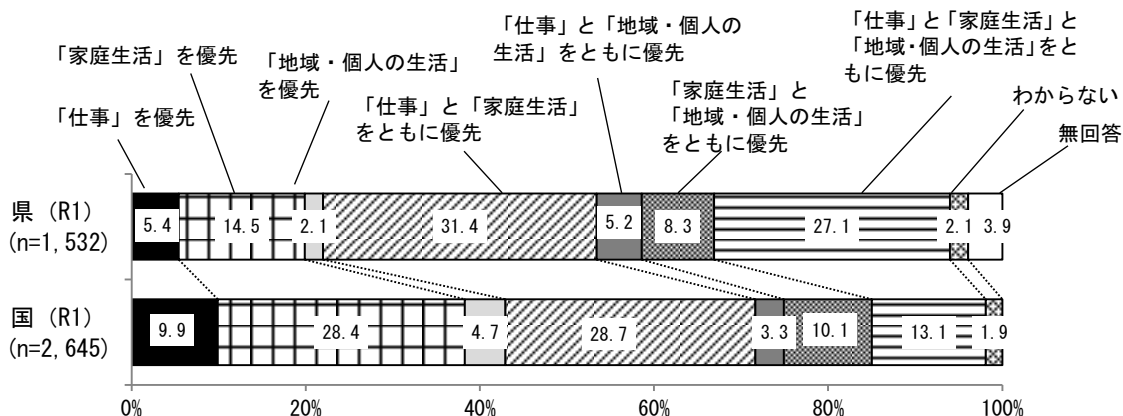
【図表 14-1-4 就労している人の日常の優先度<希望> (職種別)】



<国調査との比較>

国調査と比べると、『「家庭生活」を優先』では県調査が国調査を13.9ポイント下回り、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』では14.0ポイント上回っている。

【図表 14-1-5 就労している人の日常の優先度<希望> (国調査との比較)】



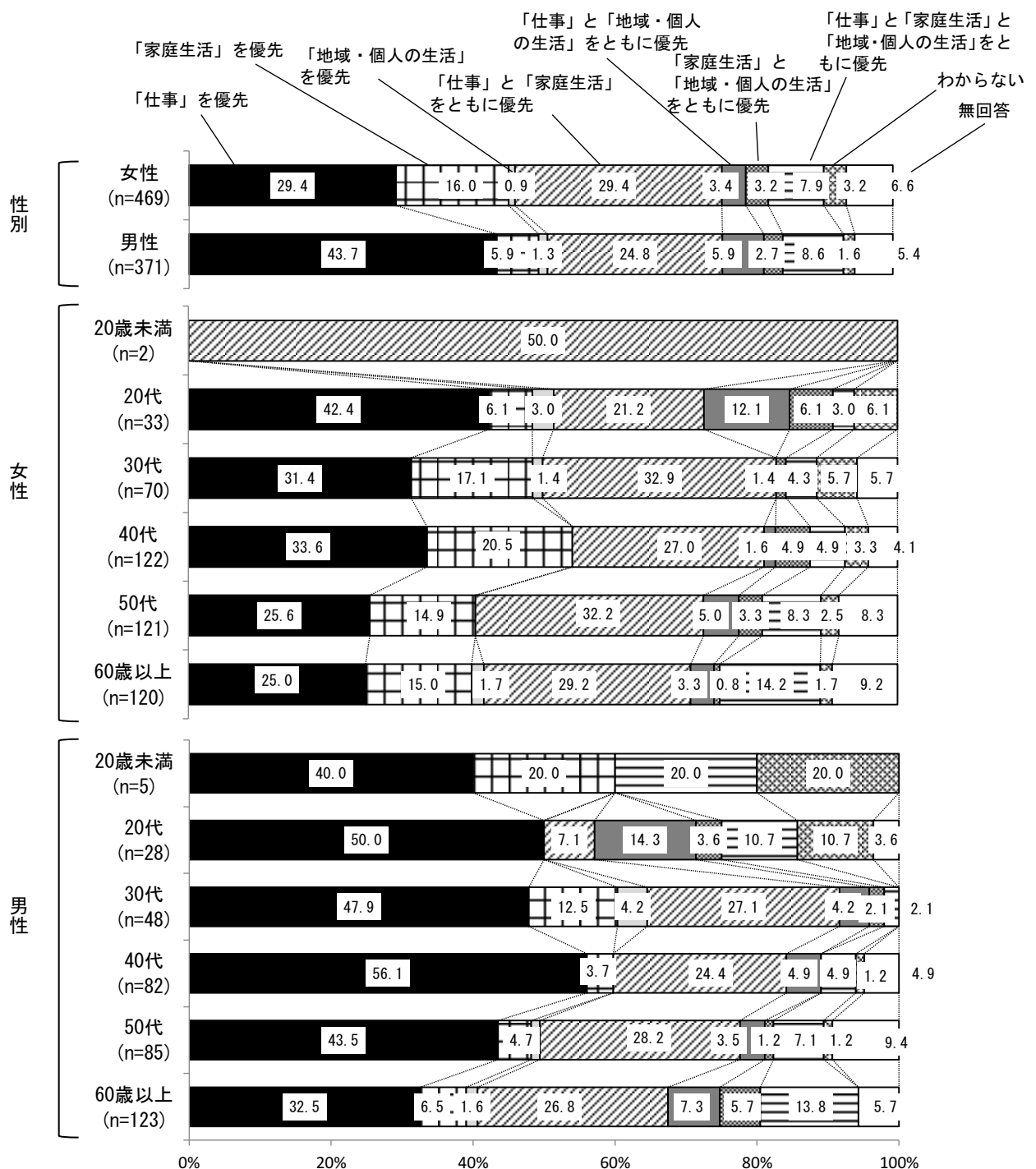
イ就労している人の日常の優先度<現実・現状>

<性・年齢別>

性別にみると、女性は『「仕事」を優先』(29.4%)、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』(29.4%)、男性は『「仕事」を優先』(43.7%)が最も高くなっている。特に『「仕事」を優先』は男性が女性を14.3ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は20代、40代で『「仕事」を優先』が最も高くなっているが、年齢が上がるにつれて『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先』の割合が高くなっている。男性はすべての年代で『「仕事」を優先』が最も高くなっている。

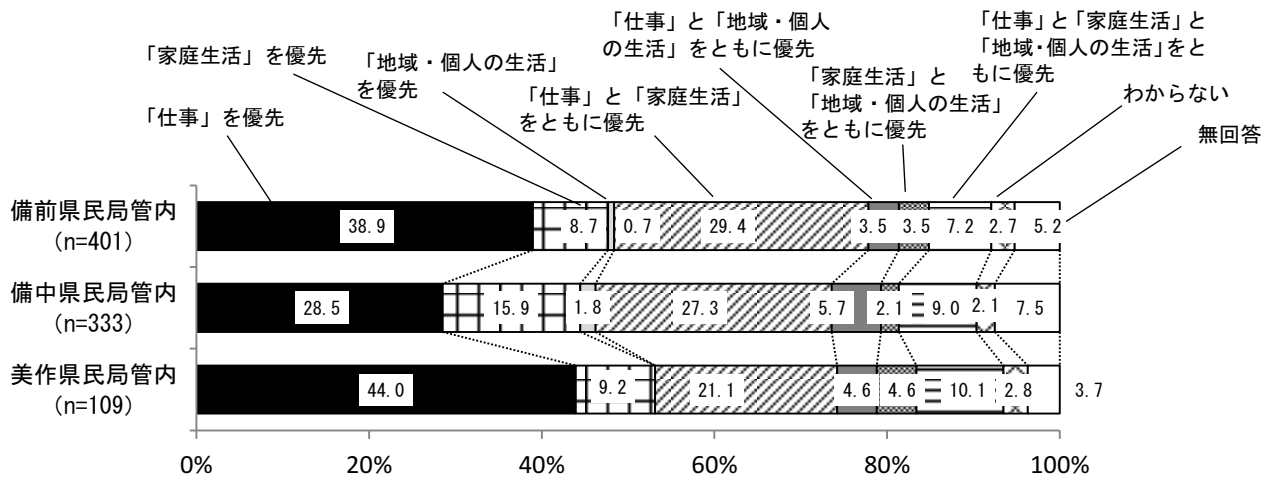
【図表 14-2-1 就労している人の日常の優先度<現実・現状> (性・年齢別)】



<地域別>

すべての地域で、『「仕事」を優先』が最も高くなっている。美作県民局管内は『「仕事」を優先』が4割を超え、他の地域と比べ、高くなっている。

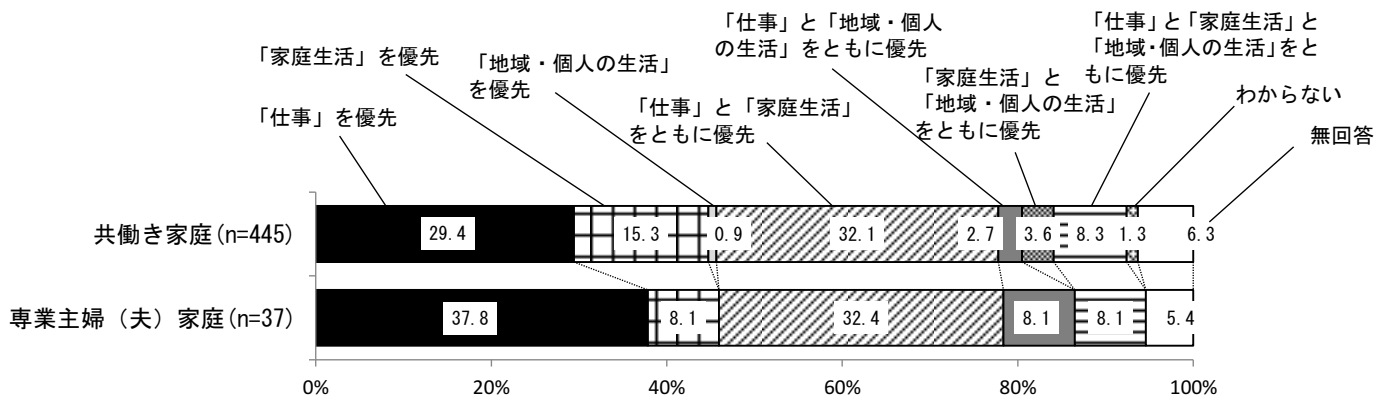
【図表 14-2-2 就労している人の日常の優先度<現実・現状> (地域別)】



<就労状況別>

就労状況別にみると、専業主婦（夫）家庭は共働き家庭と比べて、『「仕事」を優先』が8.4ポイント高くなっており、『「家庭生活」を優先』が7.2ポイント低くなっている。

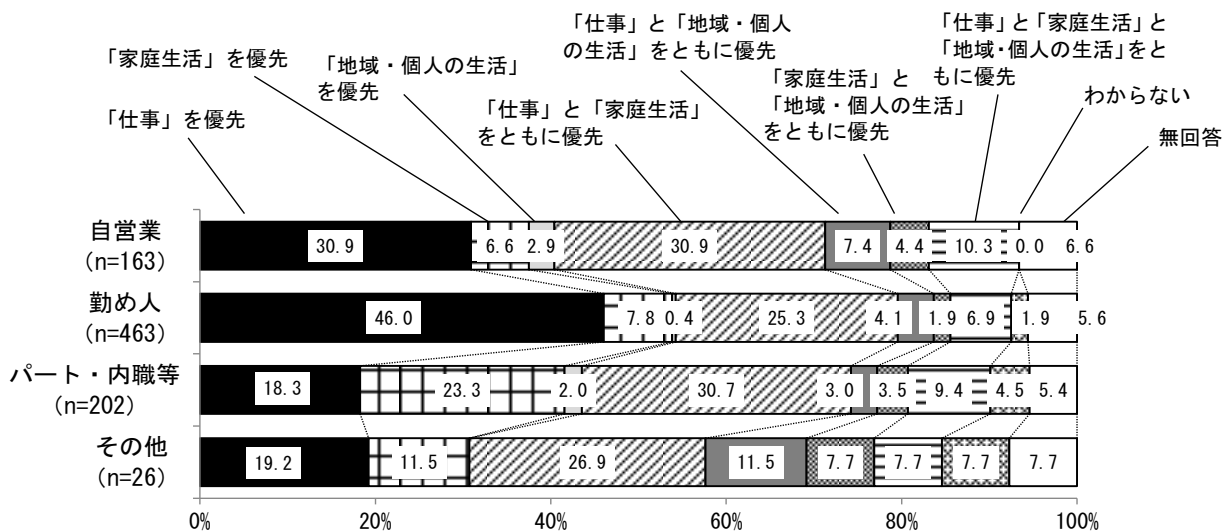
【図表 14-2-3 就労している人の日常の優先度<現実・現状> (就労状況別)】



<職種別>

職種別にみると、勤め人は『「仕事」を優先』が4割を超えており、他の職種よりも高くなっている。また、自営業は『「仕事」を優先』と『「仕事」と「家庭」をともに優先』3割となっており、パート・内職等は『「仕事」と「家庭」をともに優先』が高くなっている。

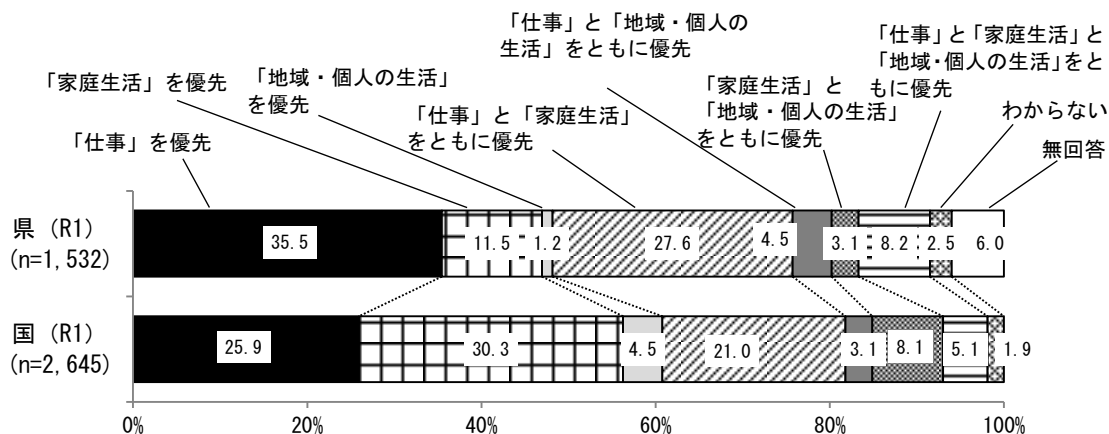
【図表 14-2-4 就労している人の日常の優先度<現実・現状> (職種別)】



<国調査との比較>

国調査と比べると、『「仕事」を優先』では県調査が国調査を9.6ポイント、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先』では県調査が国調査を6.6ポイント上回り、『「家庭生活」を優先』では県調査が国調査を18.8ポイント下回っている。

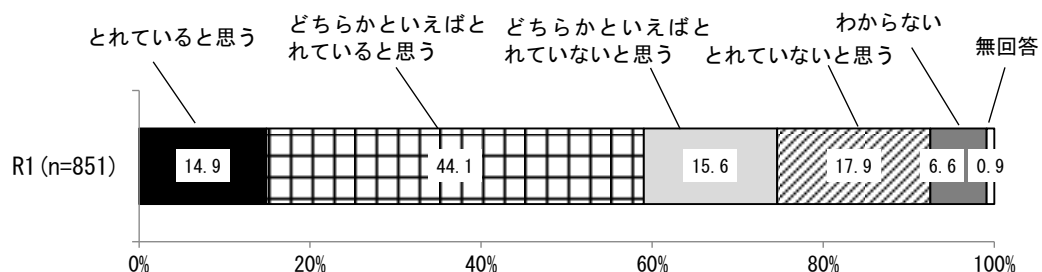
【図表 14-2-5 就労している人の日常の優先度<現実・現状>国調査との比較】



(3) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の現状

問 15 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていると思いますか。
【○印は1つ】

【図表 15-1 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の現状】



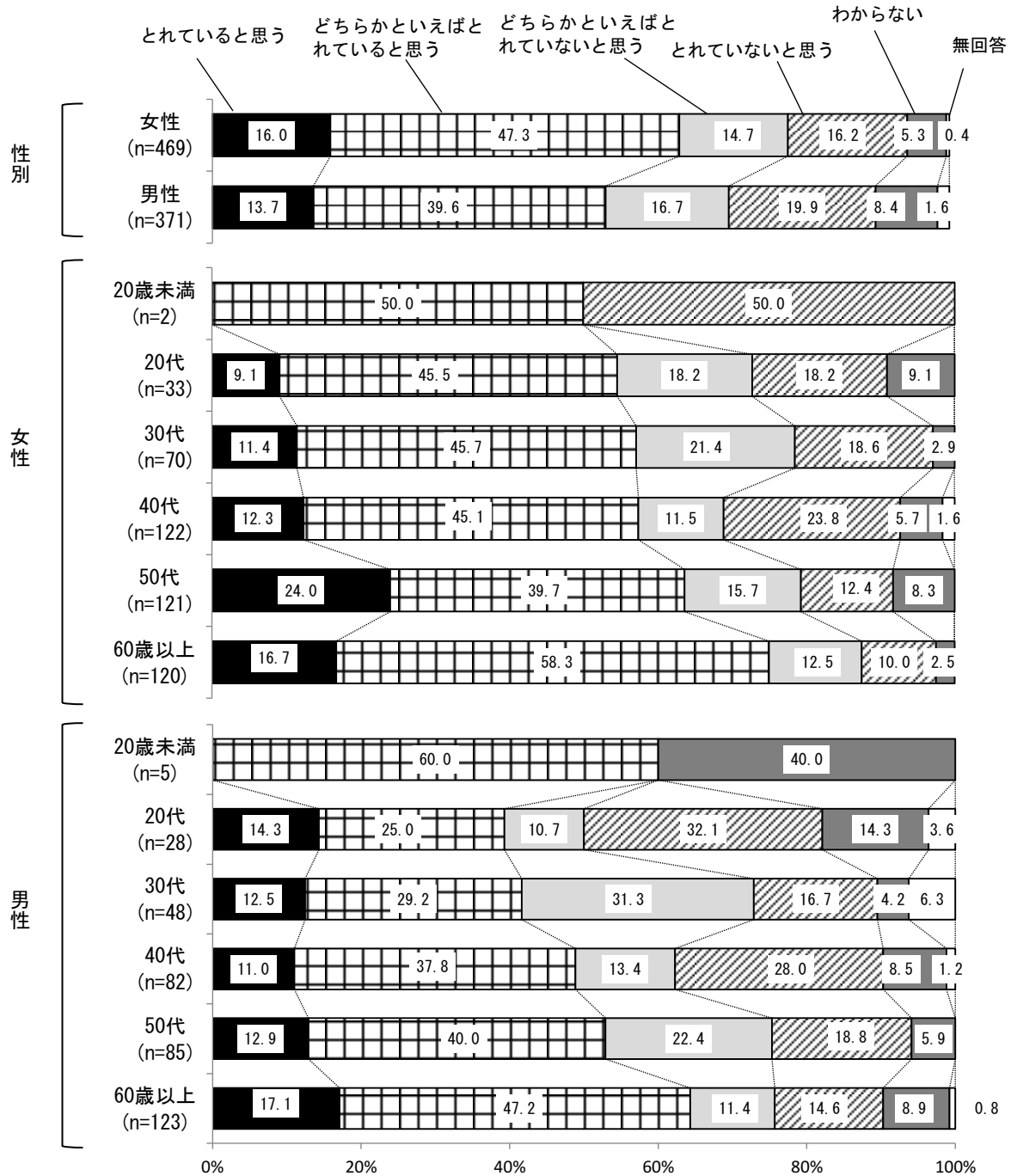
◆仕事をしている人のうち、およそ6割の人がワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれている

仕事をしている人のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の現状について、『とれている』（「とれていると思う」と「どちらかといえばとれていると思う」を合わせた割合）は、『とれていない』（「とれていないと思う」と「どちらかといえばとれていないと思う」を合わせた割合）に比べ、およそ6割と高くなっている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともに、男性20歳未満を除き、年代が上がるにつれて『とれている』の割合が高くなっている。

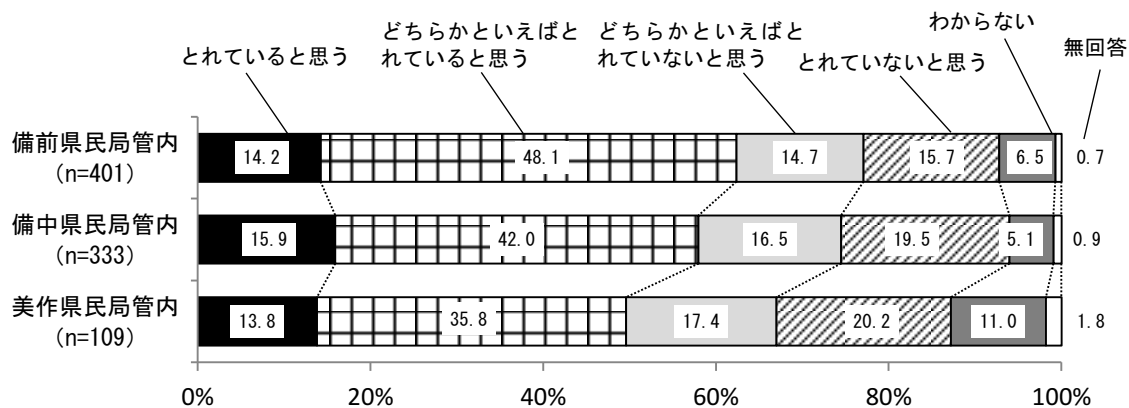
【図表 15-2 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の現状（性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、『とれている』が最も高くなっている。備前県御局管内は『とれている』(62.3%)が6割を超え、他の地域と比べ、高くなっている。

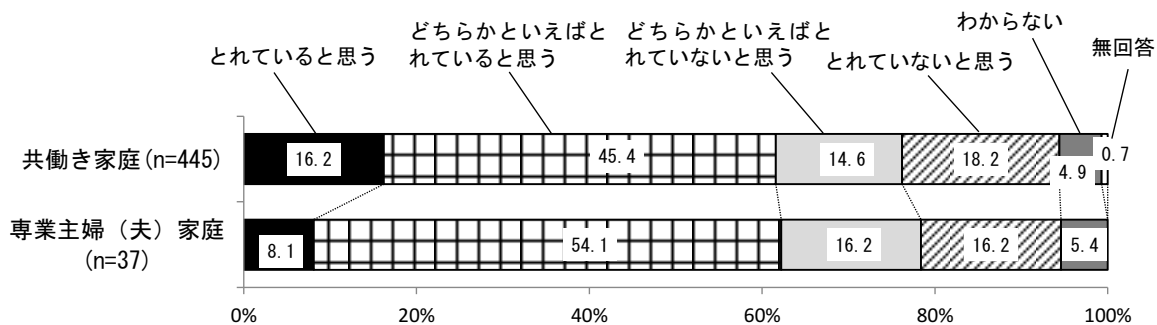
【図表 15-3 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の現状（地域別）】



<就労状況別>

就労状況別にみると、共働き家庭・専業主婦（夫）家庭共に、『とれている』がおよそ6割、『とれていない』が3割程度となっており、大きな差はみられない。

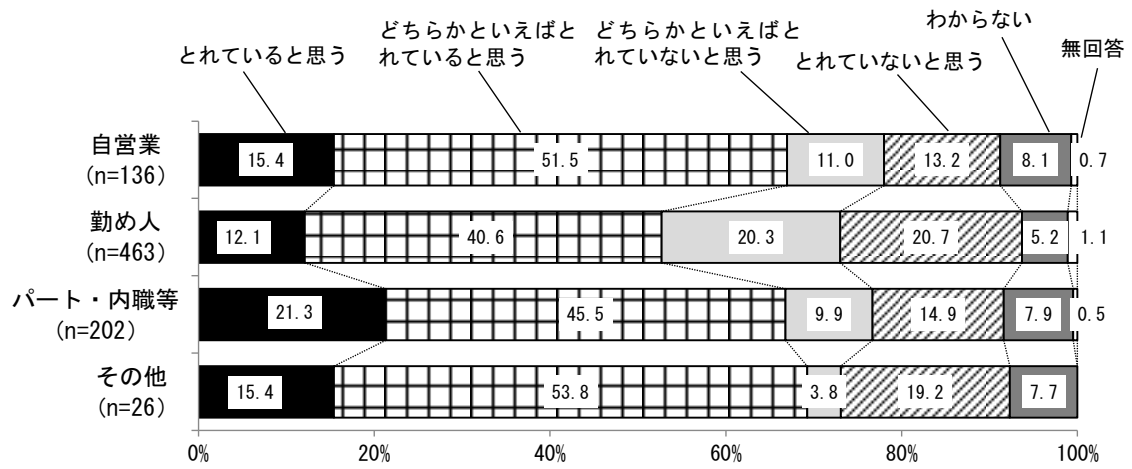
【図表 15-4 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の現状（就労状況別）】



<職種別>

職種別にみると、勤め人は他の職種と比べて、『とれている』が10ポイント以上低くなっている。

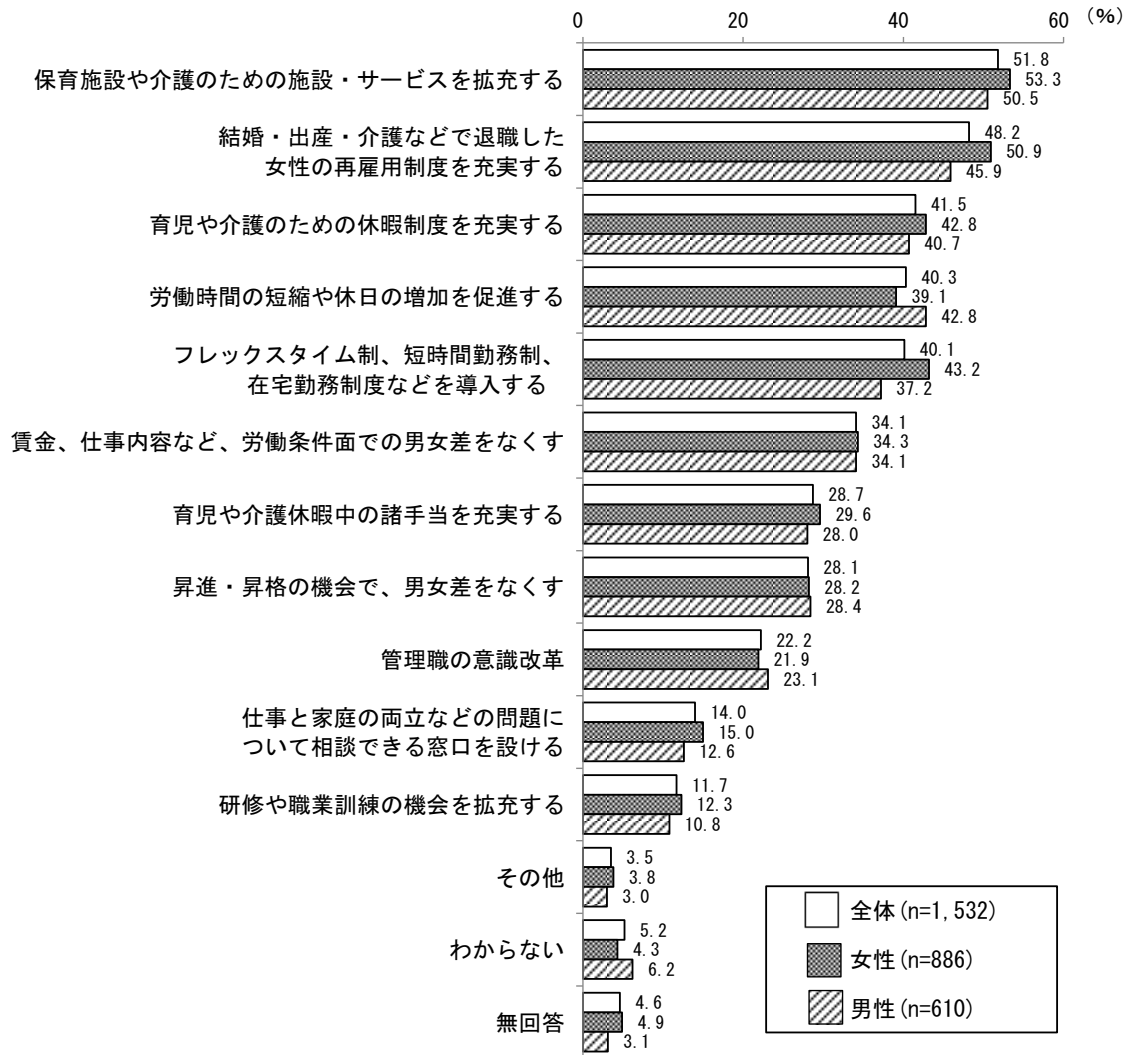
【図表 15-5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の現状（職種別）】



(4) 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと

問 16 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するためには、どのようなことが必要であるとお考えですか。【○印はいくつでも】

【図表 16-1 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと】



◆「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」への期待が強い

男女が共に「仕事と生活の調和」を図るために必要なことについて、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が51.8%と最も高く、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」（48.2%）、「育児や介護のための休暇制度を充実する」（41.5%）などの順になっている。

性別にみると、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」（女性：53.3% 男性：50.5%）、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」（女性：50.9% 男性：45.9%）は女性が男性を上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともにすべての年代で「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」のいずれかが上位に入っている。また、女性20代、30代、40代、男性20歳未満、30代で、「フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する」が上位に入っている。

【図表 16-2 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	57.1	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	50.0	育児や介護のための休暇制度を充実する 育児や介護休暇中の諸手当を充実する 結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する 昇進・昇格の機会で、男女差をなくす	42.9
	20代	フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する	60.7	労働時間の短縮や休日の増加を促進する 保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する			55.4
	30代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	59.6	労働時間の短縮や休日の増加を促進する フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する			53.9
	40代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する	50.0	労働時間の短縮や休日の増加を促進する			49.3
	50代	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	50.0	労働時間の短縮や休日の増加を促進する 結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する			46.1
	60歳以上	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	54.5	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	54.0	育児や介護のための休暇制度を充実する	41.0
男性	20歳未満	労働時間の短縮や休日の増加を促進する 育児や介護のための休暇制度を充実する 結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する 昇進・昇格の機会で、男女差をなくす フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する					46.7
	20代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	53.8	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	51.3	育児や介護のための休暇制度を充実する	46.2
	30代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	52.0	フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する	50.0	育児や介護休暇中の諸手当を充実する	48.0
	40代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	56.8	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	45.5	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	43.2
	50代	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	56.4	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	39.4	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	38.3
	60歳以上	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	57.7	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	49.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	43.8

<地域別>

すべての地域で「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も高く、次いで、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」などの順となっている。

【図表 16-3 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと（地域別）】

(単位: %)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.0	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	51.2	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	50.8
2位	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	49.5	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	47.5	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	49.2
3位	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	43.0	育児や介護のための休暇制度を充実する	42.5	育児や介護のための休暇制度を充実する	40.4

<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、H16年調査から今回調査にかけて、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も高く、次いで「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」、「育児や介護のための休暇制度を充実する」の順となっており、経年による大きな変化はみられない。

【図表 16-4 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと（過去の調査との比較）】

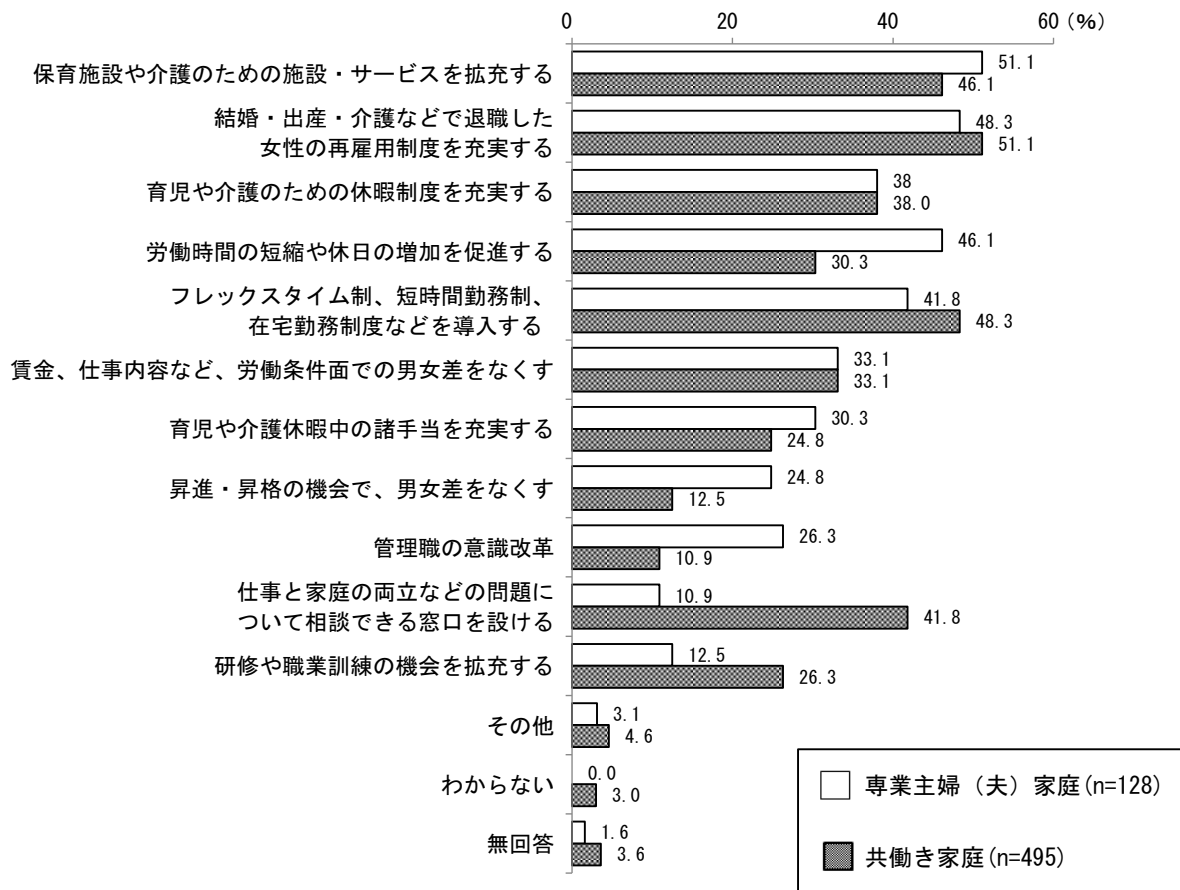
(単位: %)

	R1年		H26年		H21年		H16年	
1位	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	51.8	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	44.2	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	53.3	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	57.0
2位	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	48.2	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	39.5	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	41.6	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	54.8
3位	育児や介護のための休暇制度を充実する	41.5	育児や介護のための休暇制度を充実する	31.6	育児や介護のための休暇制度を充実する	34.4	育児や介護のための休暇制度を充実する	43.1

<就労状況別>

就労状況別にみると、共働き家庭は専業主婦（夫）家庭と比べて、「仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける」が30.9ポイント高く、「管理職の意識改革」が15.4ポイント低くなっている。

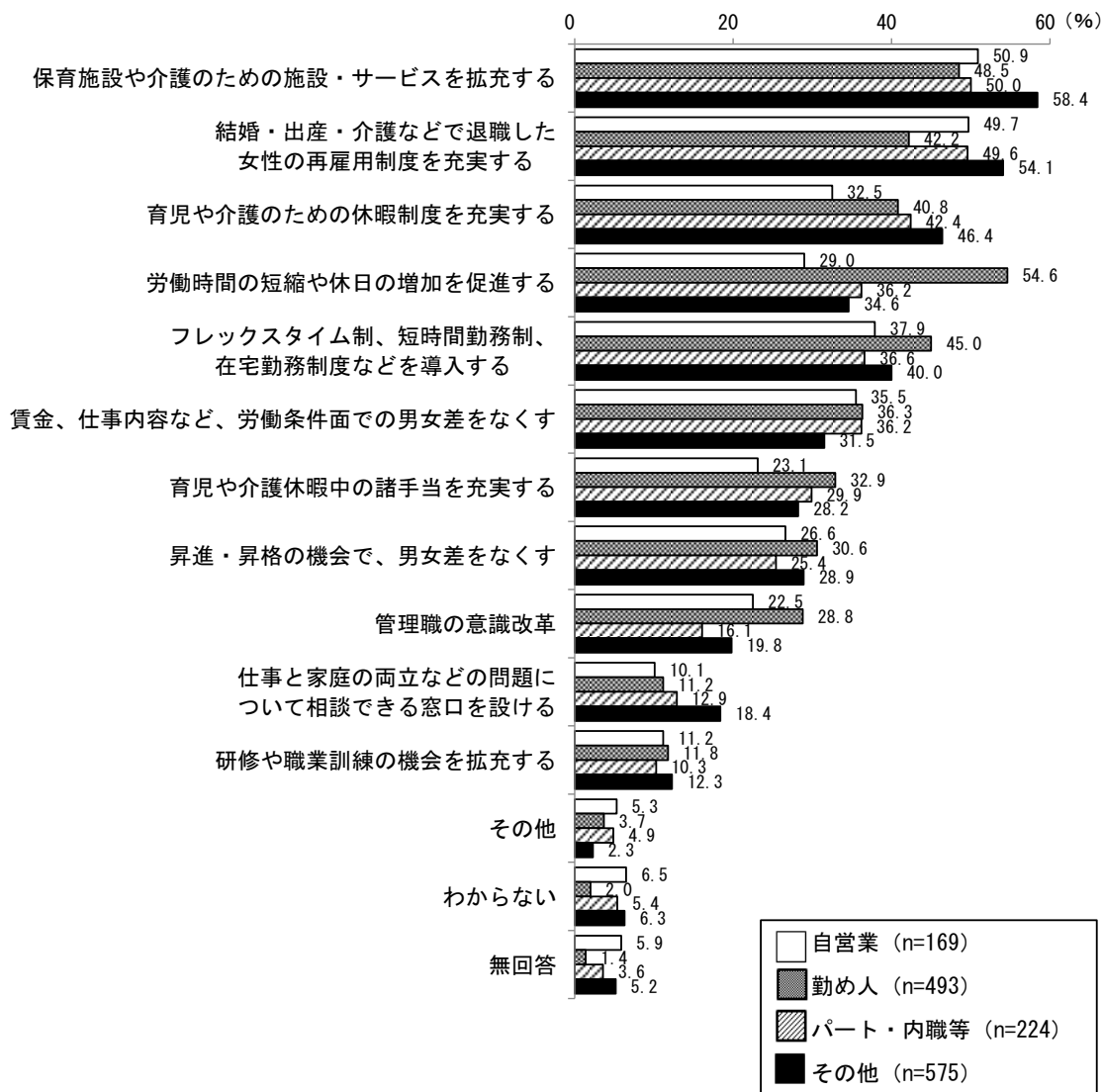
【図表 16-5 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと（就労状況別）】



<職種別>

職種別にみると、すべての職種で「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」がおよそ5割と最も高くなっている。また、勤め人では「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」が他の職種と比べておよそ18ポイント以上高くなっている。

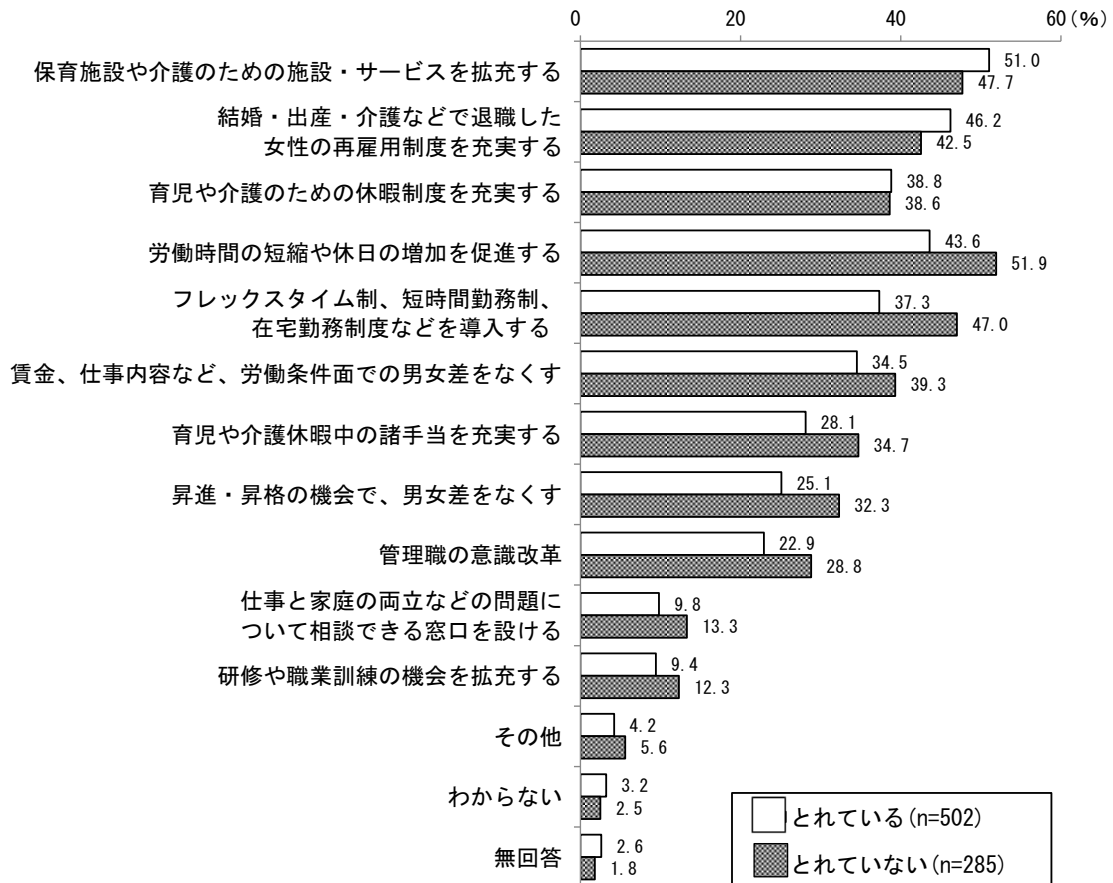
【図表 16-6 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと（職種別）】



<WLB がとれている人別>

ワークライフバランスが取れている人別でみると、とれている人は「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も高くなっており、とれていない人は「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」が最も高くなっている。

【図表 16-7 男女が共にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために必要なこと（WLB がとれている人別）】

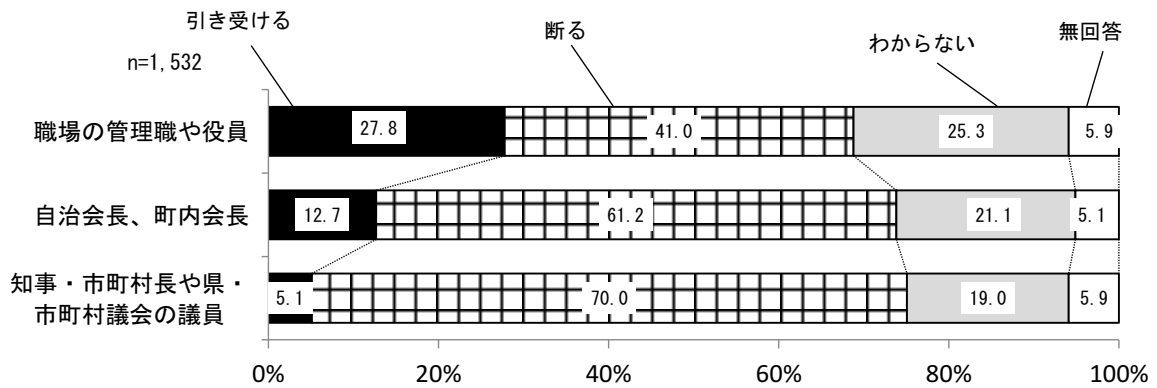


(5) 役職への就任や公職への立候補の依頼に対する考え方

問 17 あなたは、仮に次の役職への就任や公職への立候補を依頼されたらどうしますか。

【○印それぞれ1つ】

【図表 17-1 役職への就任や公職への立候補の依頼に対する考え方】



◆「職場の管理職や役員」就任の依頼については約 3 割の人が「引き受ける」が、「知事・市町村長や県・市町村議会の議員」立候補の依頼については 7 割の人が「断る」

役職への就任や公職への立候補の依頼に対する考え方について、すべての役職において依頼を「断る」が最も高くなっている。「職場の管理職や役員」については、「引き受ける」が 27.8%となっており、およそ 3 割の人が引き受ける可能性を示している。一方、「自治会長、町内会長」については、「引き受ける」割合は約 1 割となっており、「知事・市町村長や県・市町村議会の議員」の立候補の依頼については、1 割未満となっている。

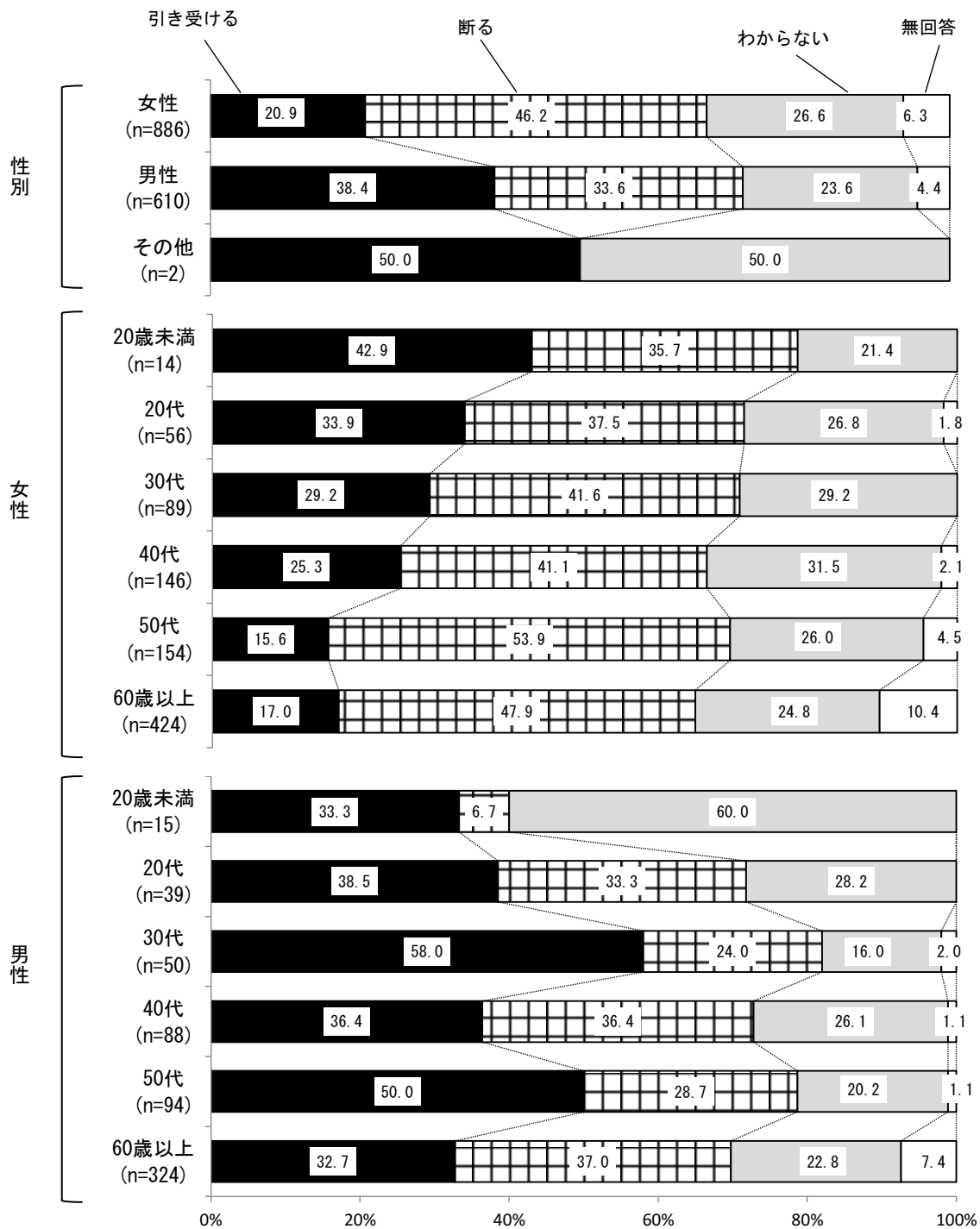
(a) 職場の管理職や役員

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「引き受ける」は男性（38.4%）が女性（20.9%）を17.5ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性は60歳以上を除き、年齢が上がるにつれて「引き受ける」の割合が低くなる傾向にある。男性はすべての年代で「引き受ける」の割合が3割を超え、30代、50代で5割を超えている。

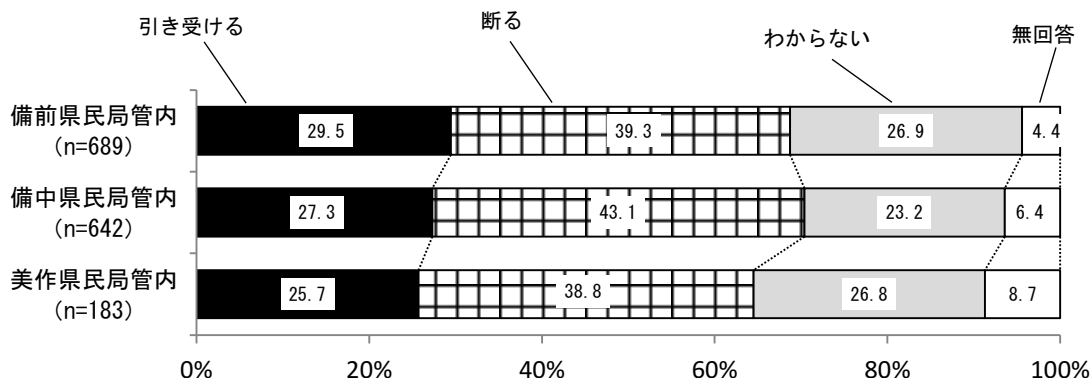
【図表 17-1-1 職場の管理職や役員への就任の依頼に対する考え方（性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で「断る」の割合が高く、4割前後となっている。

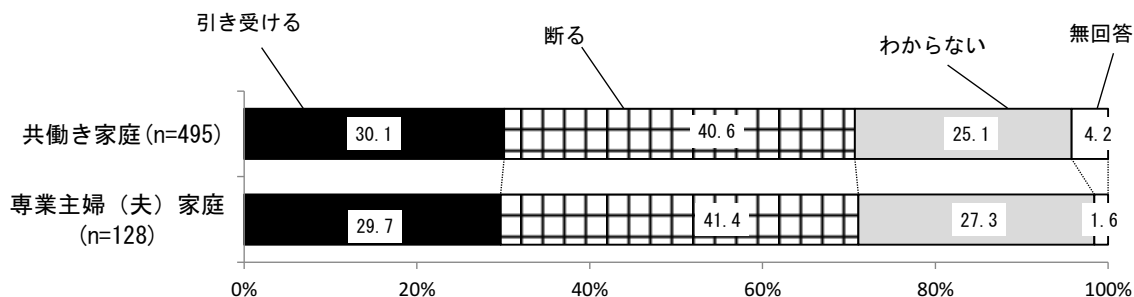
【図表 17-1-2 職場の管理職や役員への就任の依頼に対する考え方（地域別）】



<就労状況別>

就労状況別にみると、共働き家庭・専業主婦（夫）家庭共に、「引き受ける」がおよそ3割、「断る」が4割程度となっており、大きな差はみられない。

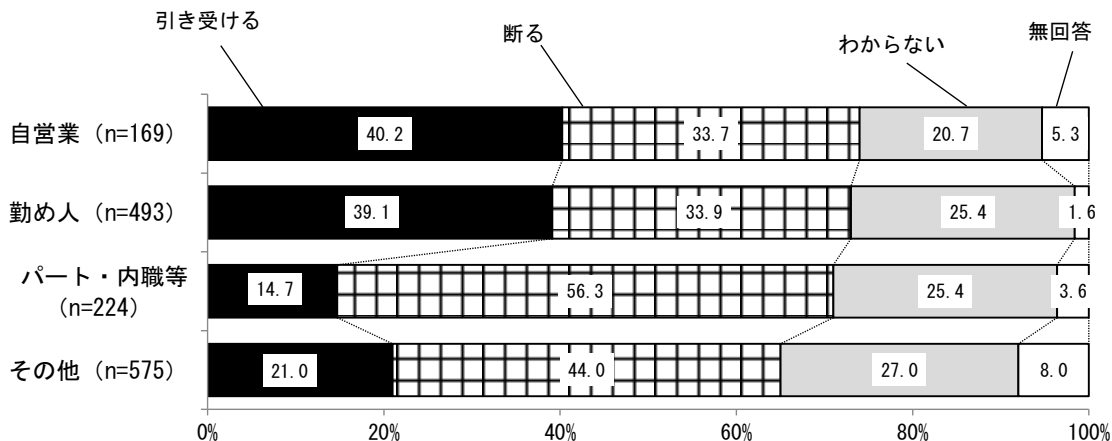
【図表 17-1-3 職場の管理職や役員への就任の依頼に対する考え方（就労別）】



<職種別>

職種別にみると、パート・内職等はその他を除く他の職種と比べて、「断る」が20ポイント以上高くなっている。

【図表 17-1-4 職場の管理職や役員への就任の依頼に対する考え方（職種別）】



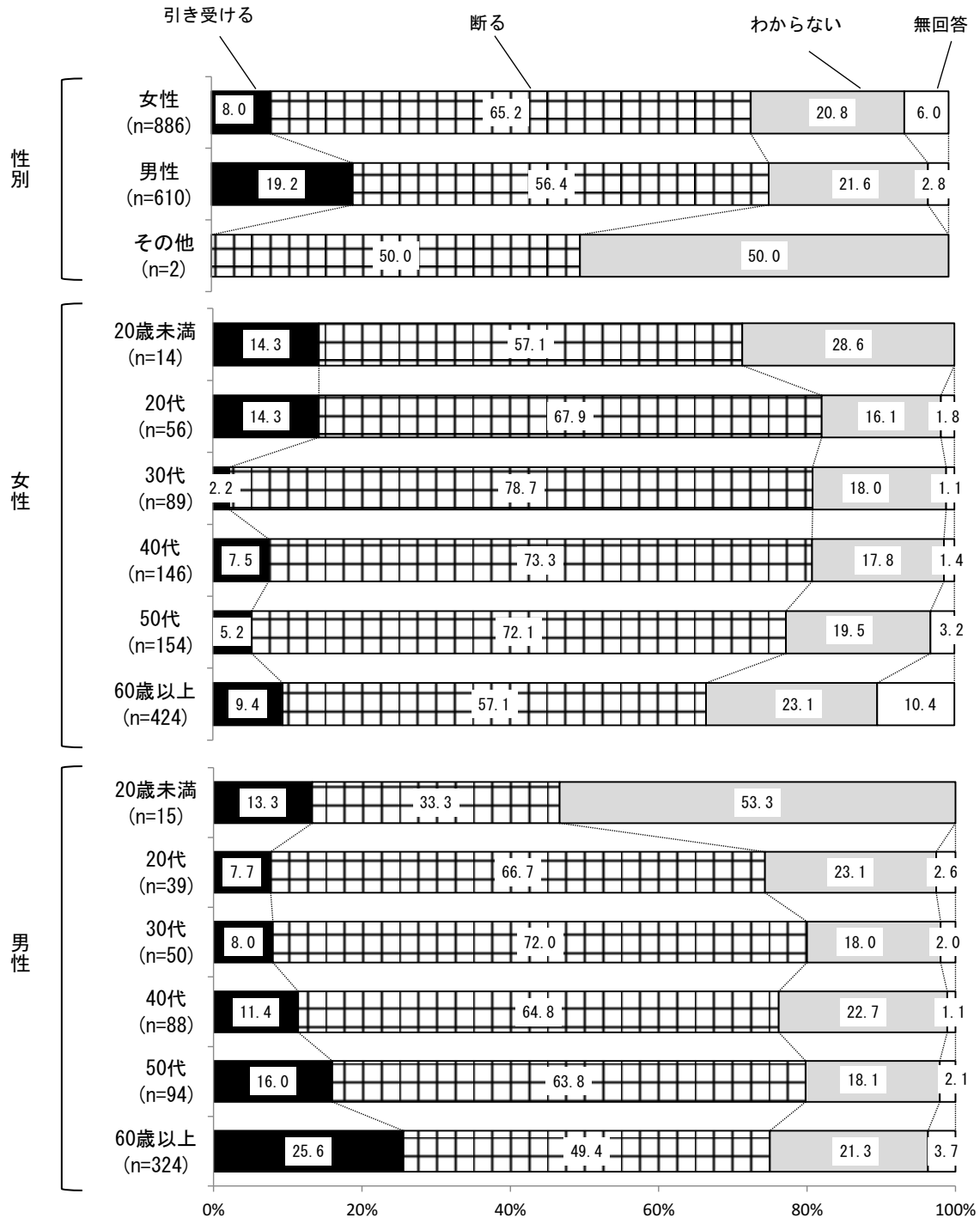
(b) 自治会長、町内会長

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「引き受ける」は男性（19.2%）が女性（8.0%）を11.2ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性はすべての年代で「断る」の割合が高くなっている。男性は、20歳未満を除き、年齢が上がるにつれて、「引き受ける」の割合が高くなっている。

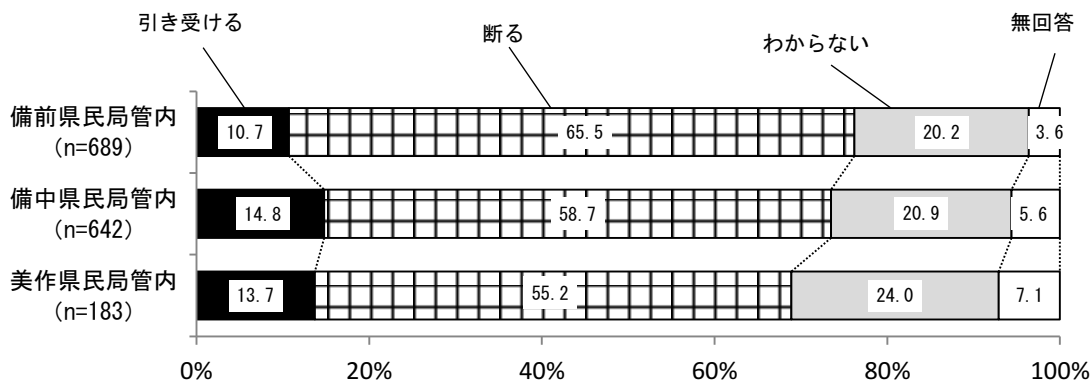
【図表 17-2-1 自治会長、町内会長への就任の依頼に対する考え方（性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で「断る」の割合が高く、6割前後となっている。

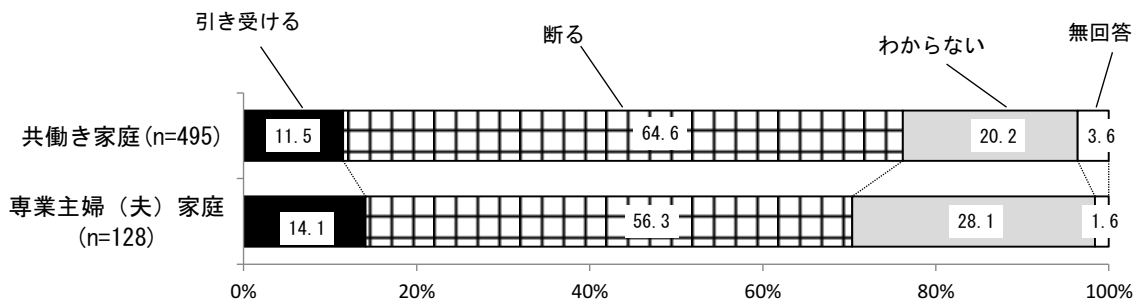
【図表 17-2-2 自治会長、町内会長への就任の依頼に対する考え方（地域別）】



<就労状況別>

就労状況別にみると、共働き家庭は専業主婦（夫）家庭と比べて「断る」が8.3ポイント高くなっている。

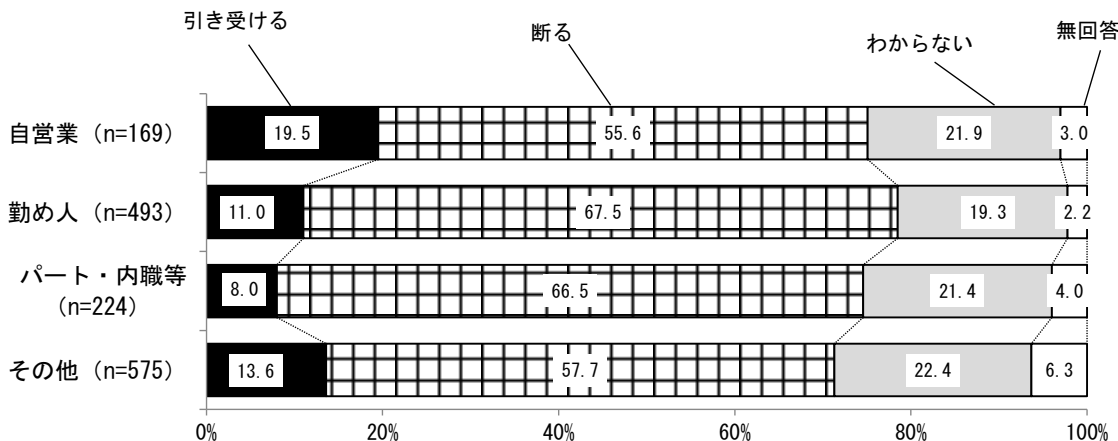
【図表 17-2-3 自治会長、町内会長への就任の依頼に対する考え方（就労別）】



<職種別>

職種別にみると、自営業はその他を除く他の職種と比べて、「断る」が10ポイント以上低くなっている。

【図表 17-2-4 自治会長、町内会長への就任の依頼に対する考え方（職種別）】



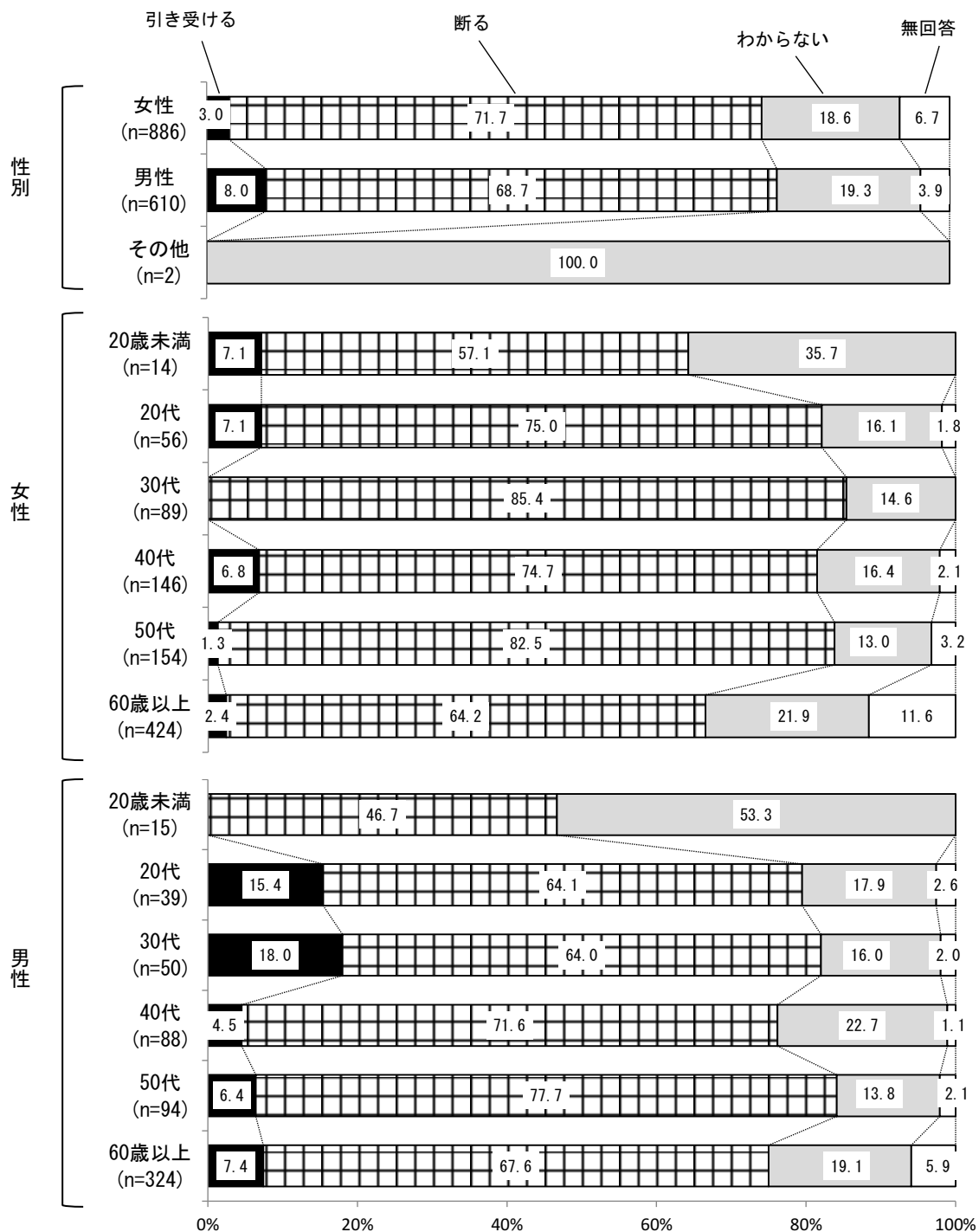
(c) 知事・市町村長や県・市町村議会の議員

<性別、性・年齢別>

性別にみると、「引き受ける」は男性（8.0%）が女性（3.0%）を5.0ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、男女ともに、女性20歳未満、男性20歳未満を除き、すべての年代で「断る」の割合が7割前後となっている。男性は、20代、30代で「引き受ける」の割合が2割程度となっている。

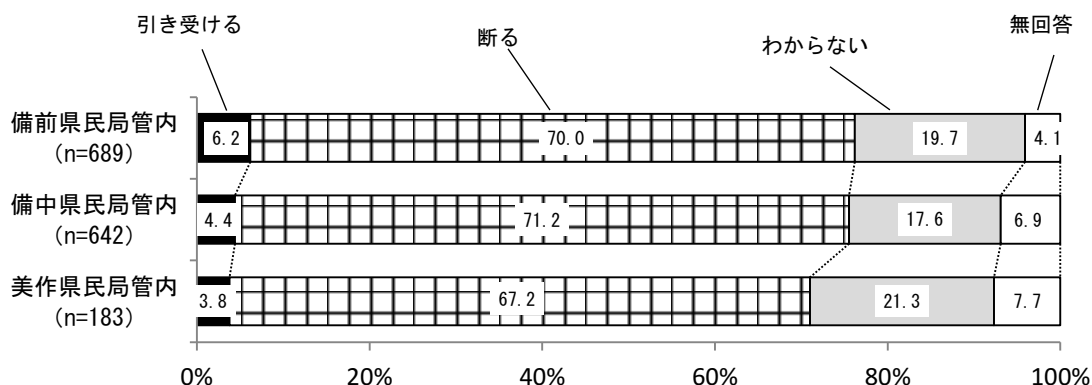
【図表 17-3-1 知事・市町村長や県・市議村議会の議員への立候補の依頼に対する考え方(性・年齢別)】



<地域別>

すべての地域で「断る」の割合が高く、7割前後となっており、大きな差は見られない。

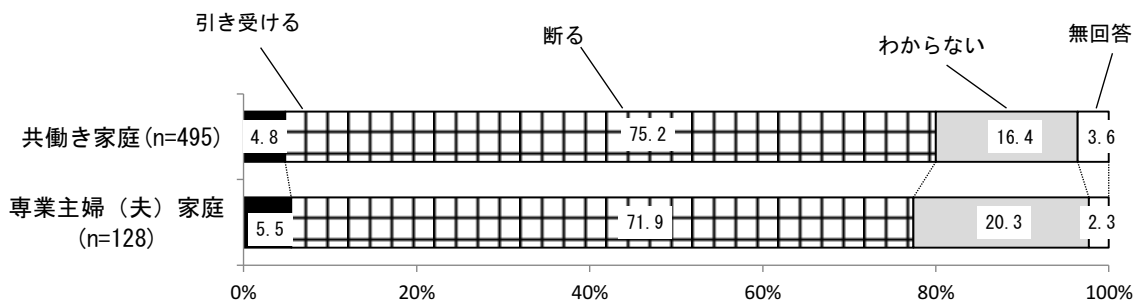
【図表 17-3-2 知事・市町村長や県・市議村議会の議員への立候補の依頼に対する考え方（地域別）】



<就労状況別>

就労状況別でみると、「断る」の割合が7割を超えて高くなっており、大きな差はみられない。

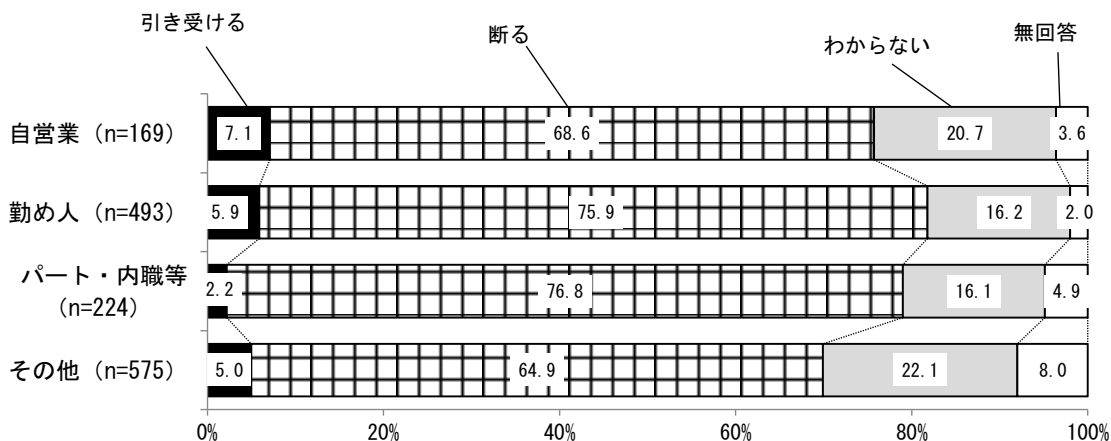
【図表 17-3-3 知事・市町村長や県・市議村議会の議員への立候補の依頼に対する考え方（就労別）】



<職種別>

職種別にみると、自営業は勤め人と比べて、「断る」が7.3ポイント低くなっている。

【図表 17-3-4 知事・市町村長や県・市議村議会の議員への立候補の依頼に対する考え方（職種別）】

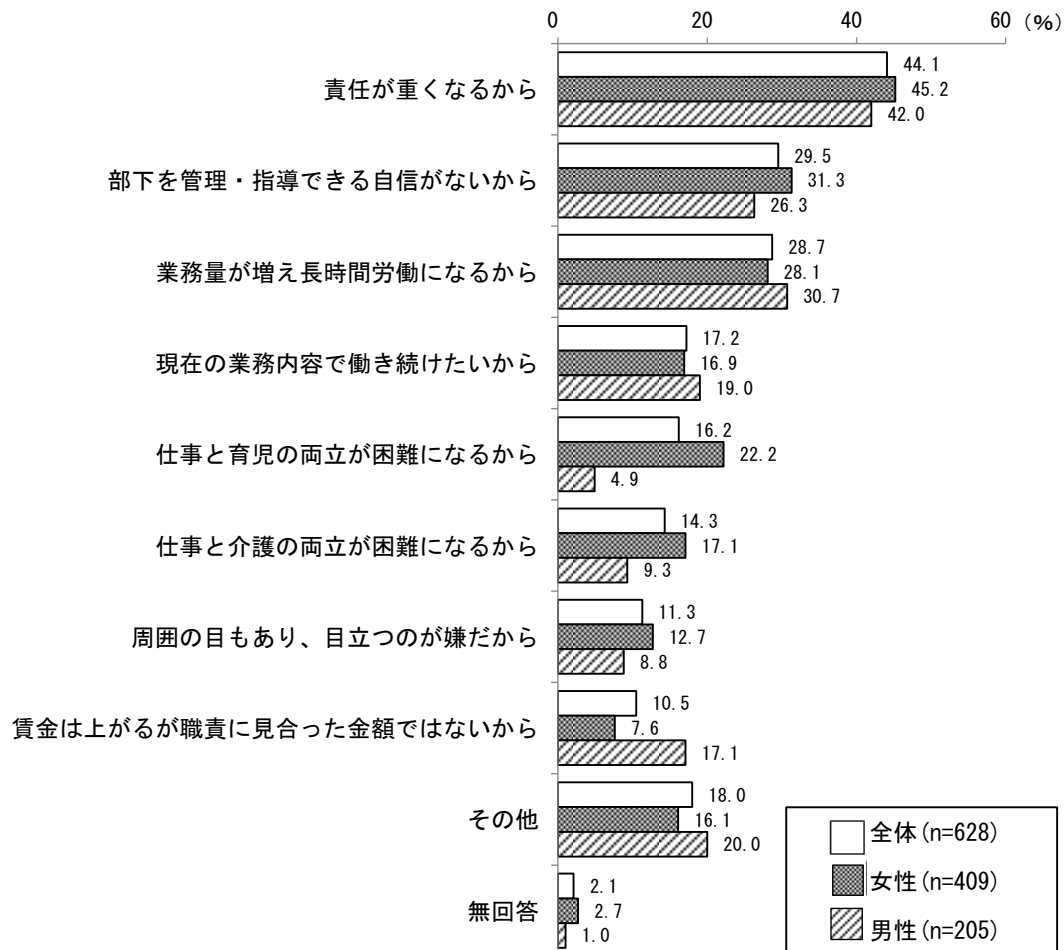


(6) 依頼を断る理由

(a) 職場の管理職や役員への就任を断る理由

問 18 その理由は、何ですか。【○印はいくつでも】

【図表 18-1-1 職場の管理職や役員への就任を断る理由】



◆「仕事と育児の両立が困難になるから」で男女に大きな差、「仕事と介護の両立が困難になるから」も女性で2割程度

職場の管理職や役員への就任を断る理由について、「責任が重くなるから」が44.1%と最も高く、次いで「部下を管理・指導できる自信がないから」(29.5%)、「業務量が増え長時間労働になるから」(28.7%)などの順となっている。

性別にみると、「仕事と育児の両立が困難になるから」は女性(22.2%)が男性(4.9%)を17.3ポイント、「賃金は上がるが職責に見合った金額ではないから」は男性(17.1%)が女性(7.6%)を9.5ポイント上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともに、すべての年代で、「責任が重くなるから」、「部下を管理・指導できる自信がないから」、「業務量が増え長時間労働になるから」のいずれかが上位に入っている。女性は、30代で「仕事と育児の両立が困難になるから」が最も高くなっている。

【図表 18-1-2 職場の管理職や役員への就任を断る理由（性・年齢別）】

(単位: %)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	責任が重くなるから	80.0	部下を管理・指導できる自信がないから	40.0	業務量が増え長時間労働になるから 仕事と育児の両立が困難になるから 仕事と介護の両立が困難になるから 周囲の目もあり、目立つのが嫌だから	20.0
	20代	責任が重くなるから	61.9	業務量が増え長時間労働になるから	57.1	仕事と育児の両立が困難になるから	52.4
	30代	仕事と育児の両立が困難になるから	48.6	責任が重くなるから	43.2	業務量が増え長時間労働になるから	35.1
	40代	責任が重くなるから	45.0	仕事と育児の両立が困難になるから	38.3	業務量が増え長時間労働になるから	36.7
	50代	責任が重くなるから	50.6	部下を管理・指導できる自信がないから	37.3	業務量が増え長時間労働になるから 現在の業務内容で働き続けたいから	28.9
	60歳以上	責任が重くなるから	40.9	部下を管理・指導できる自信がないから	28.6	その他	25.1
	20歳未満	責任が重くなるから 周囲の目もあり、目立つのが嫌だから					100.0
男性	20代	責任が重くなるから	53.8	業務量が増え長時間労働になるから	38.5	現在の業務内容で働き続けたいから 部下を管理・指導できる自信がないから 周囲の目もあり、目立つのが嫌だから	30.8
	30代	業務量が増え長時間労働になるから 賃金は上がるが職責に見合った金額ではないから	58.3	責任が重くなるから 部下を管理・指導できる自信がないから 仕事と育児の両立が困難になるから			33.3
	40代	業務量が増え長時間労働になるから	56.3	責任が重くなるから	46.9	部下を管理・指導できる自信がないから	28.1
	50代	現在の業務内容で働き続けたいから	48.1	業務量が増え長時間労働になるから	40.7	部下を管理・指導できる自信がないから	37.0
	60歳以上	責任が重くなるから	41.7	その他	27.5	部下を管理・指導できる自信がないから	22.5
	20歳未満	責任が重くなるから 周囲の目もあり、目立つのが嫌だから					100.0

<地域別>

すべての地域で「責任が重くなるから」が最も高く、「業務量が増え長時間労働になるから」、「部下を管理・指導できる自信がないから」も上位に入っている。

【図表 18-1-3 職場の管理職や役員への就任を断る理由（地域別）】

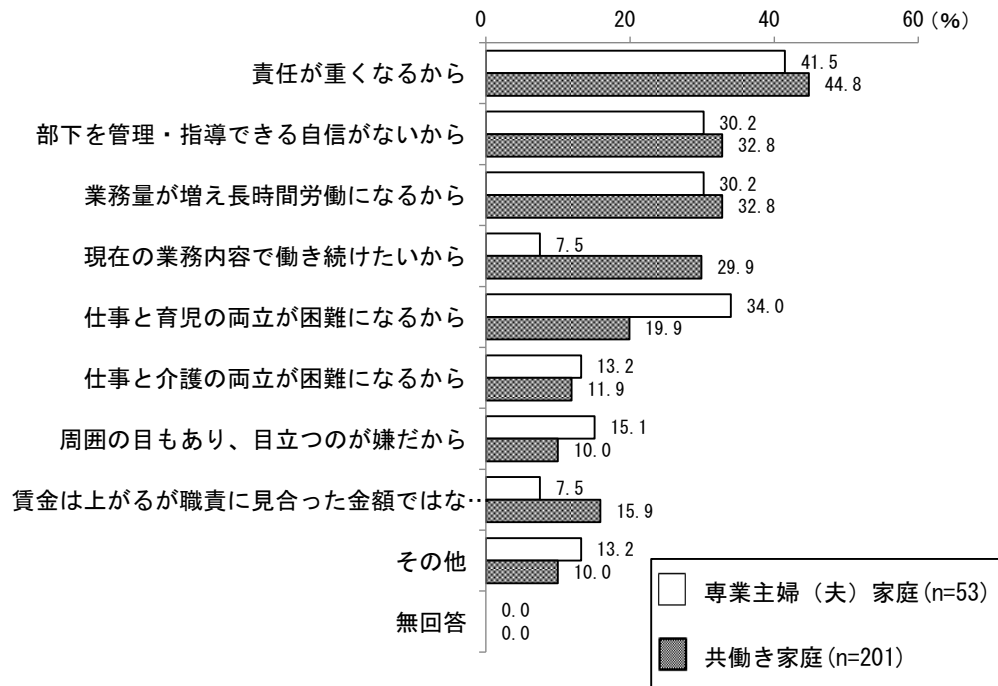
(単位: %)

備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	責任が重くなるから 48.3	責任が重くなるから 41.9	責任が重くなるから 38.0		
2位	部下を管理・指導できる自信がないから 35.1	業務量が増え長時間労働になるから 28.5	業務量が増え長時間労働になるから 25.4		
3位	業務量が増え長時間労働になるから 29.5	部下を管理・指導できる自信がないから 26.0	現在の業務内容で働き続けたいから 23.9		

<就労状況別>

就労状況別にみると、専業主婦（夫）家庭は共働き家庭と比べて、「仕事と育児の両立が困難になるから」が14.1ポイント高くなっており、「現在の業務内容で働き続けたいから」が22.4ポイント低くなっている。

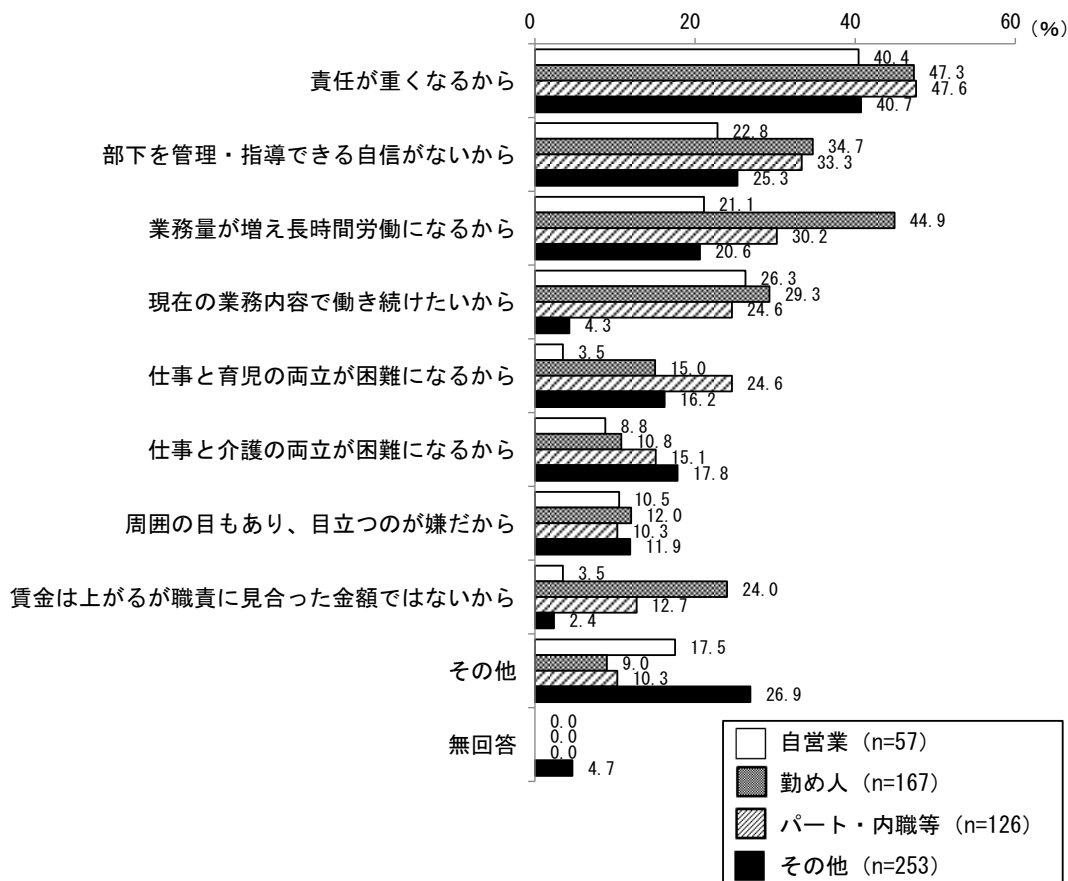
【図表 18-1-4 職場の管理職や役員への就任を断る理由（就労状況別）】



<職種別>

職種別で見ると、勤め人は他の職種と比べて、「業務量が増え長時間労働になるから」、「賃金は上がるが職責に見合った金額ではないから」が10ポイント以上高くなっている。

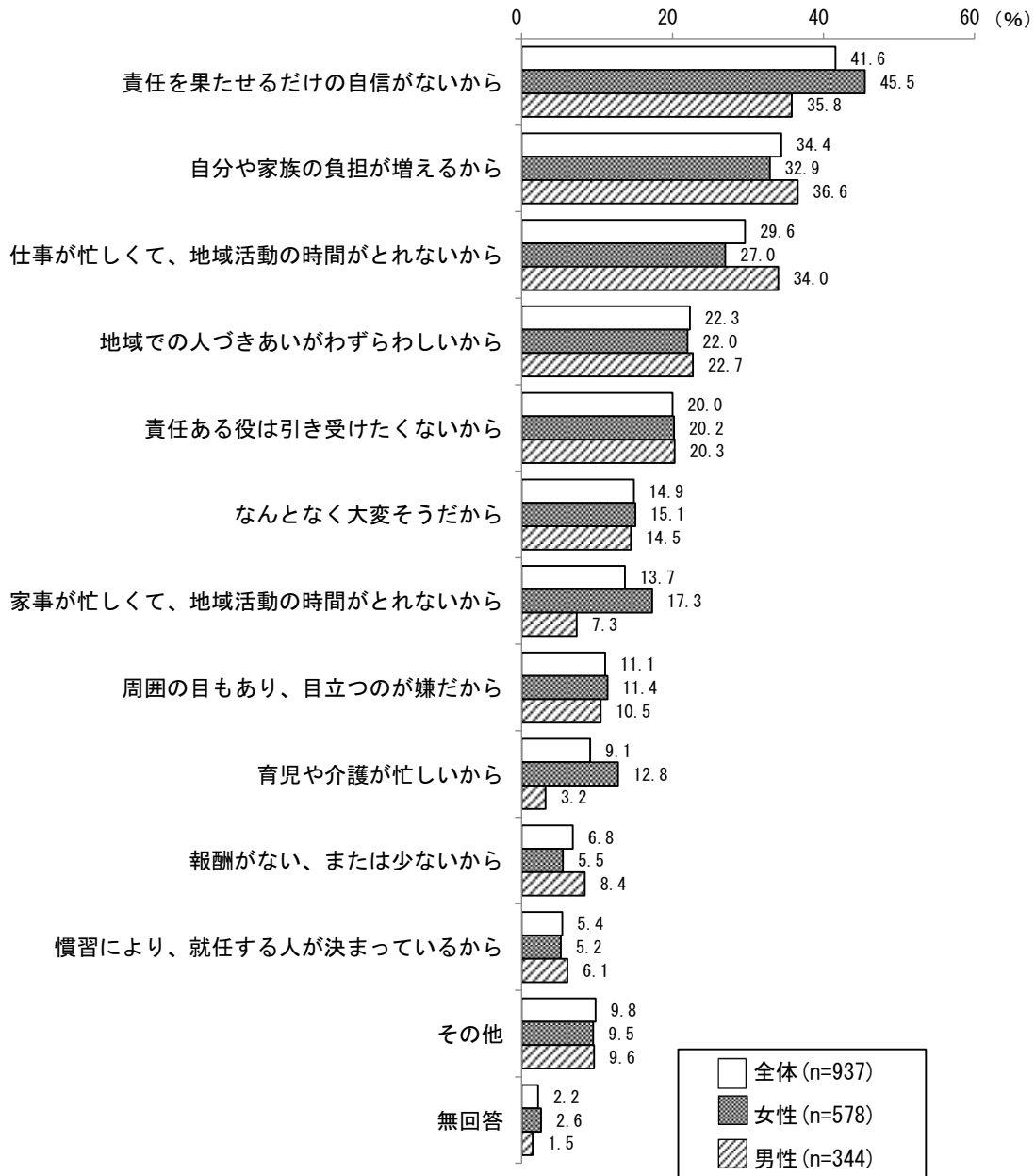
【図表 18-1-5 職場の管理職や役員への就任を断る理由（職種別）】



(b) 自治会長、町内会長

問 18 その理由は、何ですか。【○印はいくつでも】

【図表 18-2-1 自治会長、町内会長への就任を断る理由】



◆ 「責任を果たせるだけの自信がないから」、「自分や家族の負担が増えるから」が上位に

自治会長、町内会長への就任を断る理由について、「責任を果たせるだけの自信がないから」が41.6%と最も高く、次いで「自分や家族の負担が増えるから」(34.4%)、「仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから」(29.6%)などの順となっている。

性別にみると、「家事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから」(女性：17.3%、男性：7.3%)、「育児や介護が忙しいから」(女性：12.8%、男性：3.2%)は女性が男性を大きく上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともに、すべての年代で「責任を果たせるだけの自信がないから」、
「自分や家族の負担が増えるから」のいずれかが上位に入っている。女性 30 代、男性 20 代から 50 代
にかけて「仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから」が最も高くなっている。

【図表 18-2-2 自治会長、町内会長への就任を断る理由（性・年齢別）】

(単位: %)

		1位		2位		3位		
女性	20歳未満	責任を果たせるだけの自信がないから なんとなく大変そうだから		62.5	地域での人づきあいがわずらわしいから 自分や家族の負担が増えるから		37.5	
	20代	責任を果たせるだけの自信がないから	52.6	自分や家族の負担が増えるから	47.4	責任ある役は引き受けたくないから		34.2
	30代	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから	40.0	責任を果たせるだけの自信がないから	32.9	家事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから		31.4
	40代	自分や家族の負担が増えるから	44.9	責任を果たせるだけの自信がないから	41.1	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから		39.3
	50代	責任を果たせるだけの自信がないから	50.5	自分や家族の負担が増えるから	36.0	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから		35.1
	60歳以上	責任を果たせるだけの自信がないから	47.5	自分や家族の負担が増えるから	24.8	地域での人づきあいがわずらわしいから 責任ある役は引き受けたくないから		17.8
男性	20歳未満	自分や家族の負担が増えるから	60.0	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから なんとなく大変そうだから				40.0
	20代	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから 責任を果たせるだけの自信がないから		42.3	自分や家族の負担が増えるから		34.6	
	30代	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから	52.8	地域での人づきあいがわずらわしいから	33.3	自分や家族の負担が増えるから		30.6
	40代	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから	64.9	自分や家族の負担が増えるから	47.4	地域での人づきあいがわずらわしいから 責任を果たせるだけの自信がないから		22.8
	50代	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから	43.3	自分や家族の負担が増えるから	38.3	責任を果たせるだけの自信がないから		36.7
	60歳以上	責任を果たせるだけの自信がないから	41.3	自分や家族の負担が増えるから	33.1	責任ある役は引き受けたくないから		23.1

<地域別>

すべての地域で「責任を果たせるだけの自信がないから」が最も高く、次いで、「自分や家族の負担が増えるから」、「仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから」などの順となっている。

【図表 18-2-3 自治会長、町内会長への就任を断る理由（地域別）】

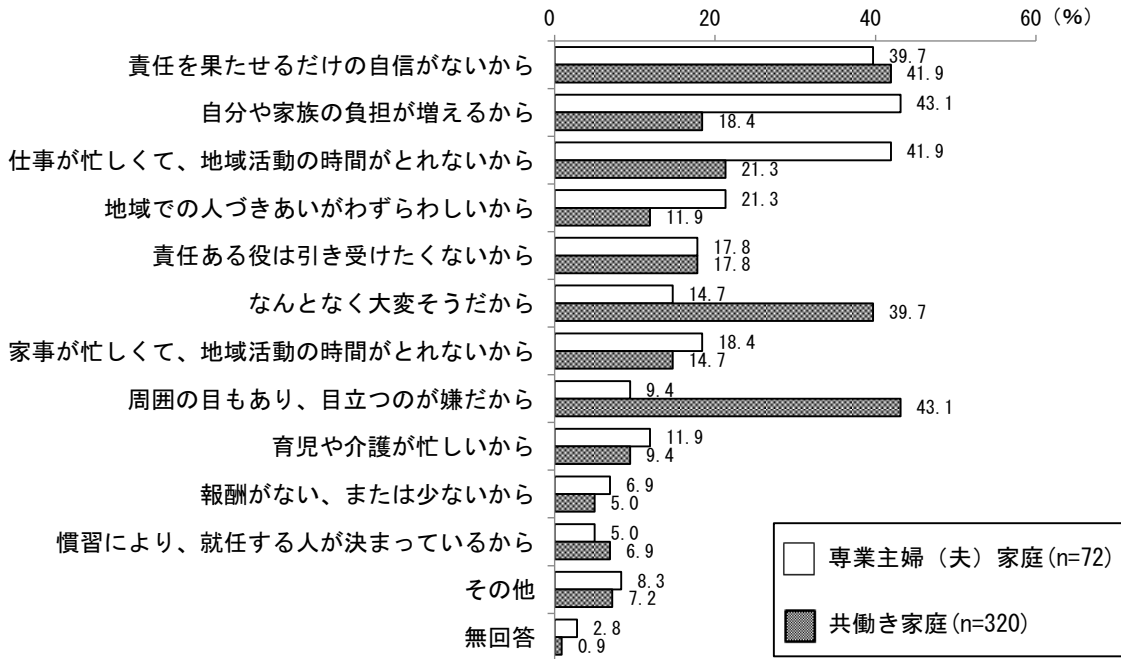
(単位: %)

備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内		
1位	責任を果たせるだけの自信がないから	40.8	責任を果たせるだけの自信がないから	40.6	責任を果たせるだけの自信がないから	49.5
2位	自分や家族の負担が増えるから	36.4	自分や家族の負担が増えるから	31.6	自分や家族の負担が増えるから	34.7
3位	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから	31.7	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから	26.8	仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから	30.7

<就労状況別>

就労状況別にみると、専業主婦（夫）家庭は共働き家庭と比べて、「自分や家族の負担が増えるから」が24.7ポイント高くなっており、「周囲の目もあり、目立つのが嫌だから」が33.7ポイント低くなっている。

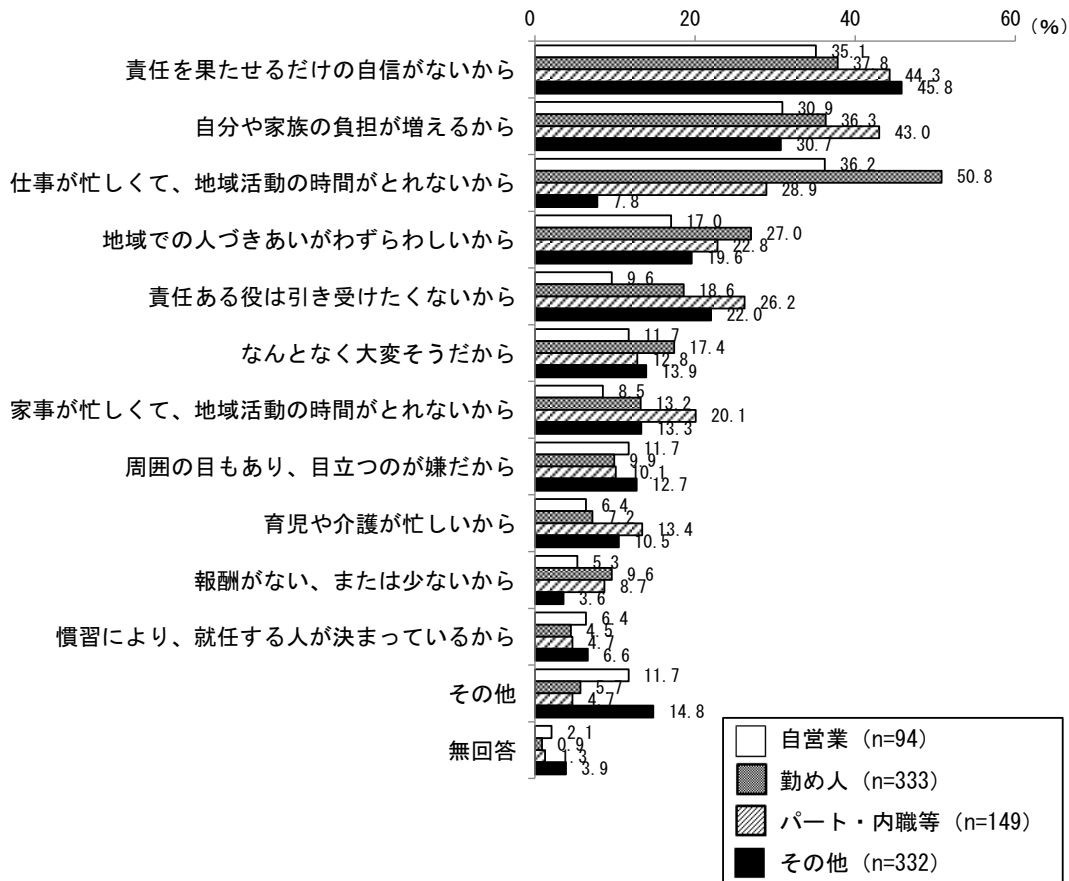
【図表 18-2-4 自治会長、町内会長への就任を断る理由（就労状況別）】



<職種別>

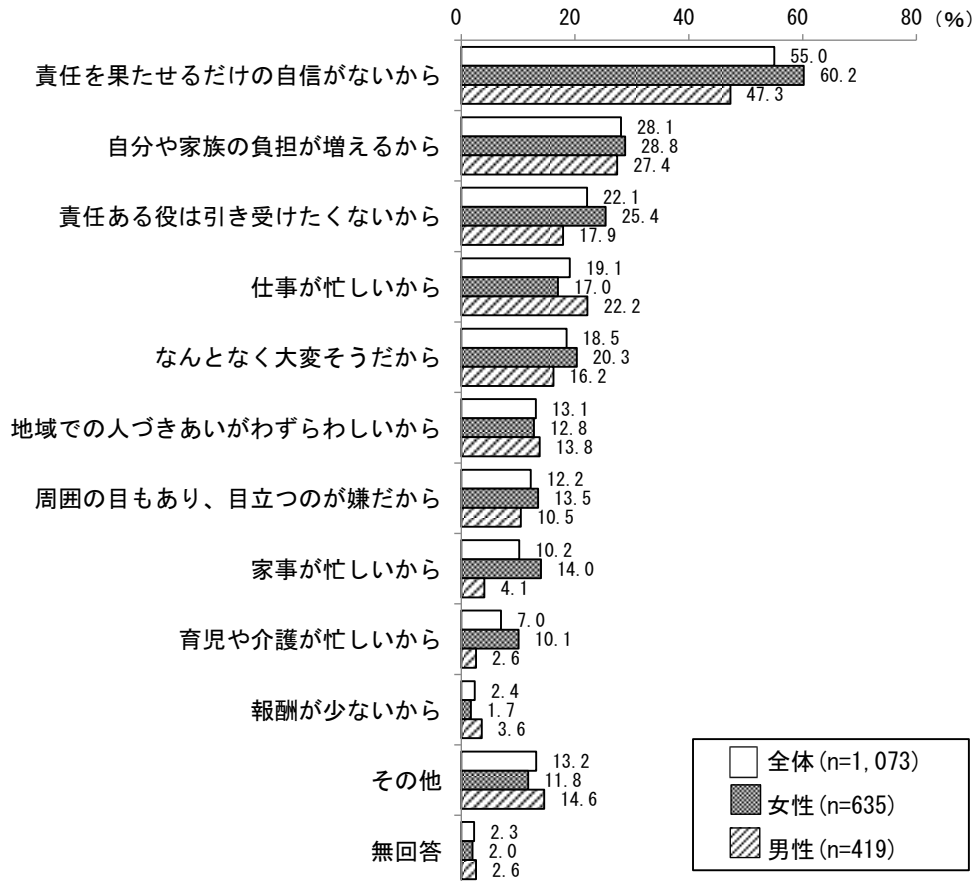
職種別でみると、勤め人は他の職種と比べて、「仕事が忙しくて、地域活動の時間がとれないから」が14ポイント以上高くなっている。

【図表 18-2-5 自治会長、町内会長への就任を断る理由（職種別）】



問 18 その理由は、何ですか。【○印はいくつでも】

【図表 18-3-1 知事・市町村長や県・市町村議会の議員への立候補を断る理由】



◆ 「責任を果たせるだけの自信がないから」が5割超、「自分や家族の負担が増えるから」、「責任ある役は引き受けたくないから」も上位に

知事・市町村長や県・市町村議会の議員への立候補を断る理由について、「責任を果たせるだけの自信がないから」が55.0%と最も高く、次いで「自分や家族の負担が増えるから」(28.1%)、「責任ある役は引き受けたくないから」(22.1%)などの順となっている。

性別にみると、「責任を果たせるだけの自信がないから」(女性：60.2%、男性：47.3%)、「家事が忙しいから」(女性：14.0%、男性：4.1%)は女性が男性を大きく上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともに、女性20歳未満、男性20歳未満を除くすべての年代で「責任を果たせるだけの自信がないから」が最も高くなっている。「自分や家族の負担が増えるから」、「責任ある役は引き受けたくないから」も上位に入っている。

【図表 18-3-2 知事・市町村長や県・市町村議会の議員への立候補を断る理由（性・年齢別）】

(単位: %)

		1位		2位		3位		
女性	20歳未満	なんとなく大変そうだから	62.5	地域での人づきあいがわずらわしいから		37.5		
	20代			責任ある役は引き受けたくないから				
				責任を果たせるだけの自信がないから				
				自分や家族の負担が増えるから				
	30代	責任を果たせるだけの自信がないから	46.1	なんとなく大変そうだから		28.9		
	自分や家族の負担が増えるから							
40代	責任を果たせるだけの自信がないから	62.4	自分や家族の負担が増えるから	43.1	仕事が忙しいから	26.6		
責任ある役は引き受けたくないから								
50代	責任を果たせるだけの自信がないから	68.5	自分や家族の負担が増えるから	26.8	責任ある役は引き受けたくないから	26.0		
60歳以上	責任を果たせるだけの自信がないから	58.1	責任ある役は引き受けたくないから	23.9	自分や家族の負担が増えるから	21.3		
男性	20歳未満	なんとなく大変そうだから		42.9	仕事が忙しいから	28.6		
	自分や家族の負担が増えるから		その他					
	20代	責任を果たせるだけの自信がないから	48.0	仕事が忙しいから	40.0			
	責任ある役は引き受けたくないから							
	30代	責任を果たせるだけの自信がないから	34.4	自分や家族の負担が増えるから	31.3	なんとなく大変そうだから	28.1	
	40代	責任を果たせるだけの自信がないから	46.0	仕事が忙しいから	44.4	自分や家族の負担が増えるから	30.2	
50代	責任を果たせるだけの自信がないから	50.7	自分や家族の負担が増えるから	32.9	仕事が忙しいから	27.4		
60歳以上	責任を果たせるだけの自信がないから	49.3	自分や家族の負担が増えるから	22.8	その他	19.2		

<地域別>

すべての地域で「責任を果たせるだけの自信がないから」が最も高く、次いで、「自分や家族の負担が増えるから」などの順となっている。美作県民局管内で「仕事が忙しいから」が上位に入っている。

【図表 18-3-3 知事・市町村長や県・市町村議会の議員への立候補を断る理由（地域別）】

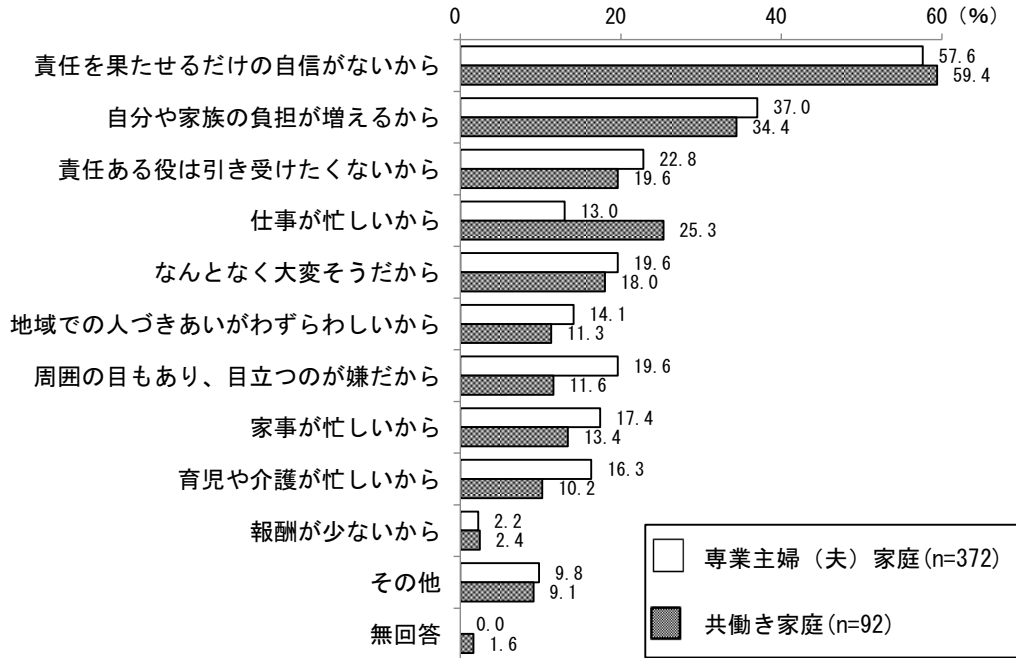
(単位: %)

		備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	責任を果たせるだけの自信がないから	55.2	責任を果たせるだけの自信がないから	55.6	責任を果たせるだけの自信がないから	54.5	
2位	自分や家族の負担が増えるから	29.7	自分や家族の負担が増えるから	26.7	自分や家族の負担が増えるから	26.8	
3位	責任ある役は引き受けたくないから	24.7	責任ある役は引き受けたくないから	20.4	仕事が忙しいから	24.4	

<就労状況別>

就労状況別にみると、専業主婦（夫）家庭は共働き家庭と比べて、「周囲の目もあり、目立つのが嫌だから」が8ポイント高くなっており、「仕事が忙しいから」が12.3ポイント低くなっている。

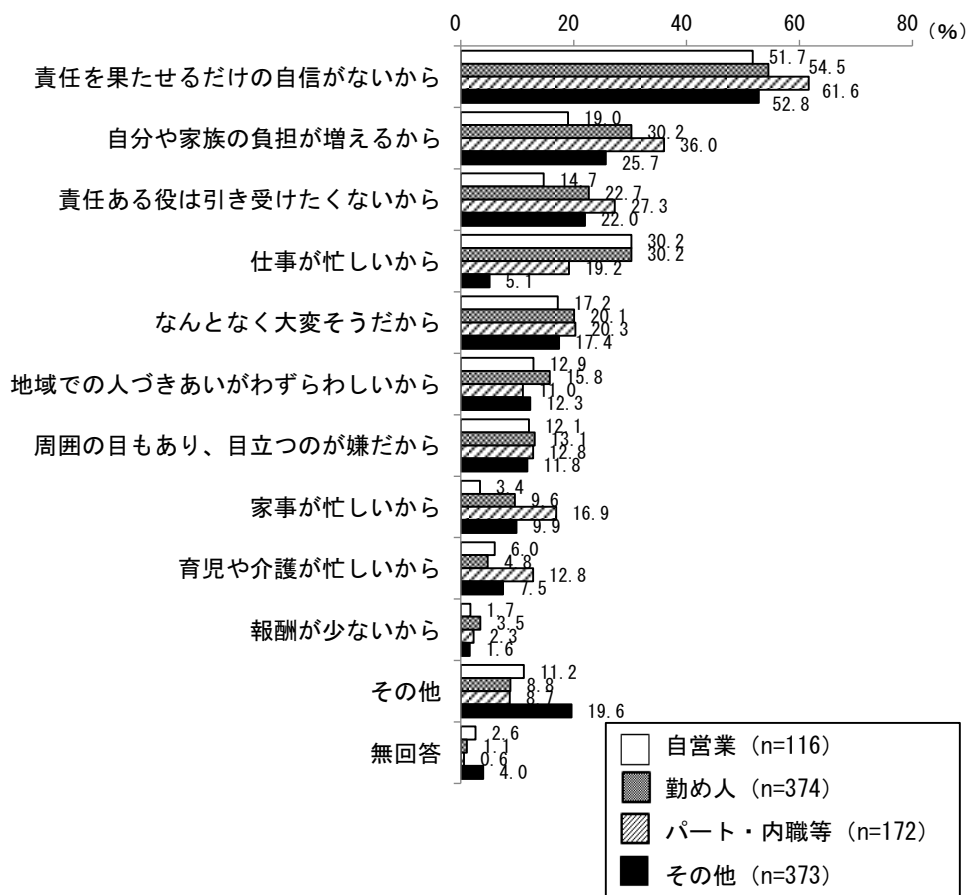
【図表 18-3-4 知事・市町村長や県・市町村議会の議員への立候補を断る理由（就労状況別）】



<職種別>

職種別で見ると、勤め人は他の職種と比べて、「地域での人づきあいがわずらわしいから」、「周囲の目もあり、目立つのが嫌だから」が最も高くなっている。

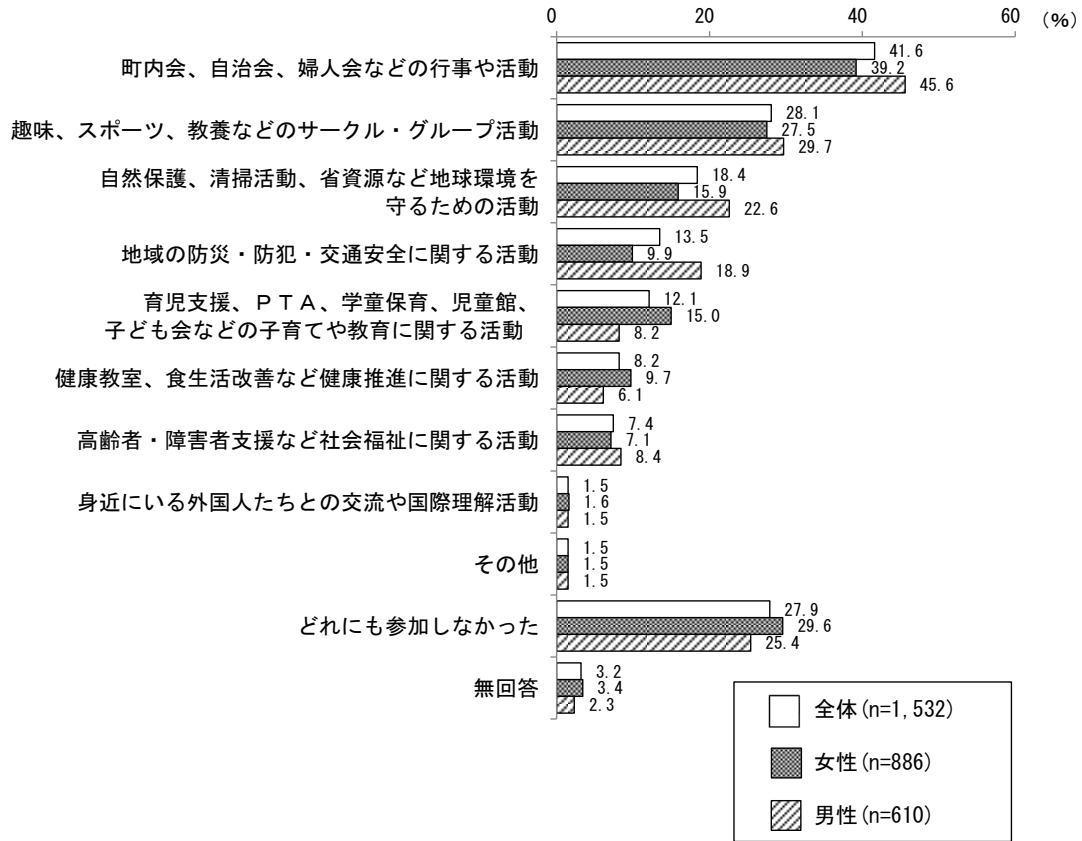
【図表 18-3-5 知事・市町村長や県・市町村議会の議員への立候補を断る理由（職種別）】



(7) 最近参加した地域活動

問 19 ここ1年ほどの間で参加した地域活動にはどのようなものがありますか。【〇印はいつでも】

【図表 19-1 最近参加した地域活動】



◆「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」、「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」、「自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動」などが上位に

参加した地域活動について、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」が41.6%と最も高く、次いで「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」(28.1%)、「自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動」(18.4%)などの順となっている。

性別にみると、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」は男性(45.6%)が女性(39.2%)を6.4ポイント上回っている。一方、「どれにも参加しなかった」は男女ともに4人に1人が当てはまる。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、女性40代、男性50代、60歳以上を除くすべての年代で「どれにも参加しなかった」、女性20歳未満、男性20代を除くすべての年代で「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」が上位に入っている。女性40代では「育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動」が最も高くなっている。

【図表 19-2 最近参加した地域活動（性・年齢別）】

(単位: %)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	どれにも参加しなかった	42.9	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	28.6	自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動	21.4
	20代	どれにも参加しなかった	50.0	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	21.4	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	14.3
	30代	どれにも参加しなかった	41.6	育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動	37.1	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	27.0
	40代	育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動	42.5	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	41.8	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	26.0
	50代	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	43.5	どれにも参加しなかった	33.8	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	17.5
	60歳以上	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	43.6	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	33.5	どれにも参加しなかった	25.9
男性	20歳未満	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	53.3	どれにも参加しなかった	26.7	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動 健康教室、食生活改善など健康推進に関する活動 自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動 身近にいる外国人たちとの交流や国際理解活動 その他	6.7
	20代	どれにも参加しなかった	46.2	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	43.6	地域の防災・防犯・交通安全に関する活動 自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動	10.3
	30代	どれにも参加しなかった	40.0	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動 町内会、自治会、婦人会などの行事や活動			24.0
	40代	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	38.6	どれにも参加しなかった	30.7	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	25.0
	50代	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	53.2	自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動	30.9	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	24.5
	60歳以上	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	55.2	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	30.6	自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動	27.2

<地域別>

すべての地域で、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」が最も高く、次いで「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」、「自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動」などの順となっている。

【図表 19-3 最近参加した地域活動（地域別）】

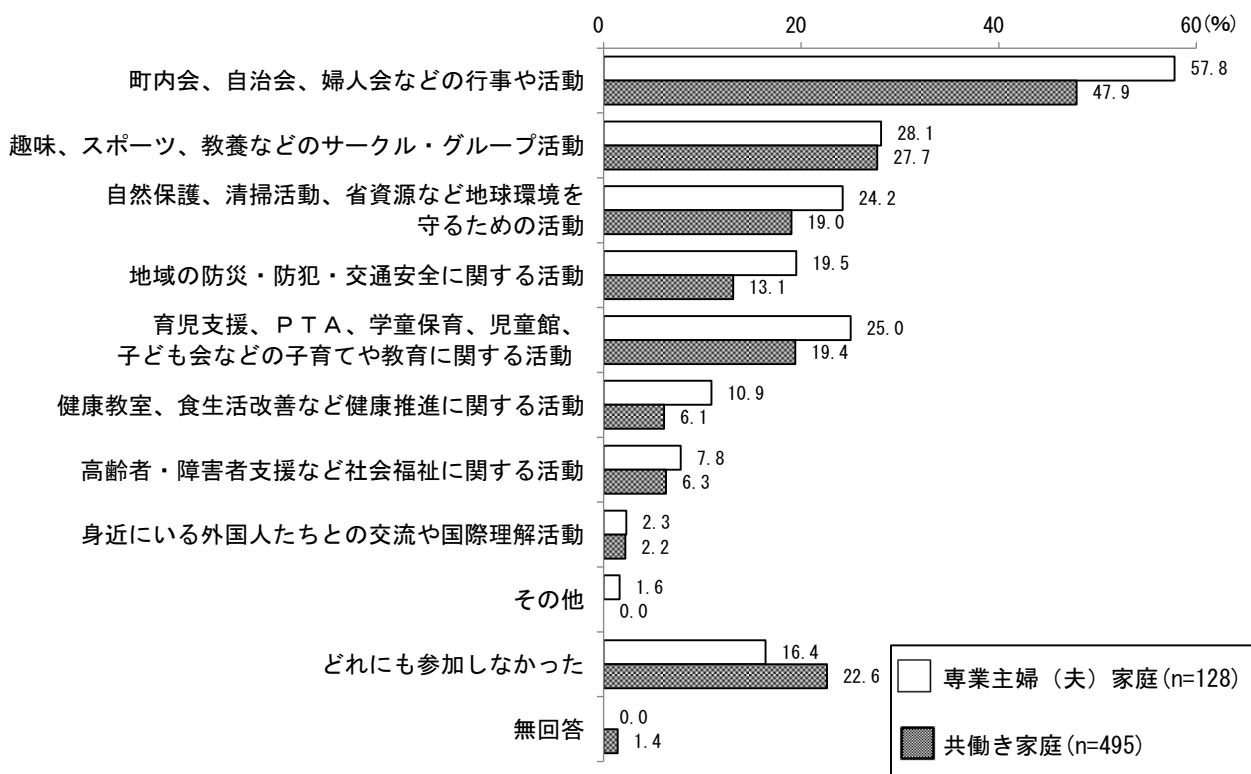
(単位: %)

	備前県民局管内	備中県民局管内	美作県民局管内
1位	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動 36.6	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動 45.5	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動 49.7
2位	どれにも参加しなかった 30.2	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動 27.7	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動 25.7
3位	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動 29.6	どれにも参加しなかった 27.1	自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動 23.0

<就労状況別>

就労状況別にみると、専業主婦（夫）家庭は共働き家庭と比べて、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」が9.9ポイント高くなっており、「どれにも参加しなかった」が6.2ポイント低くなっている。

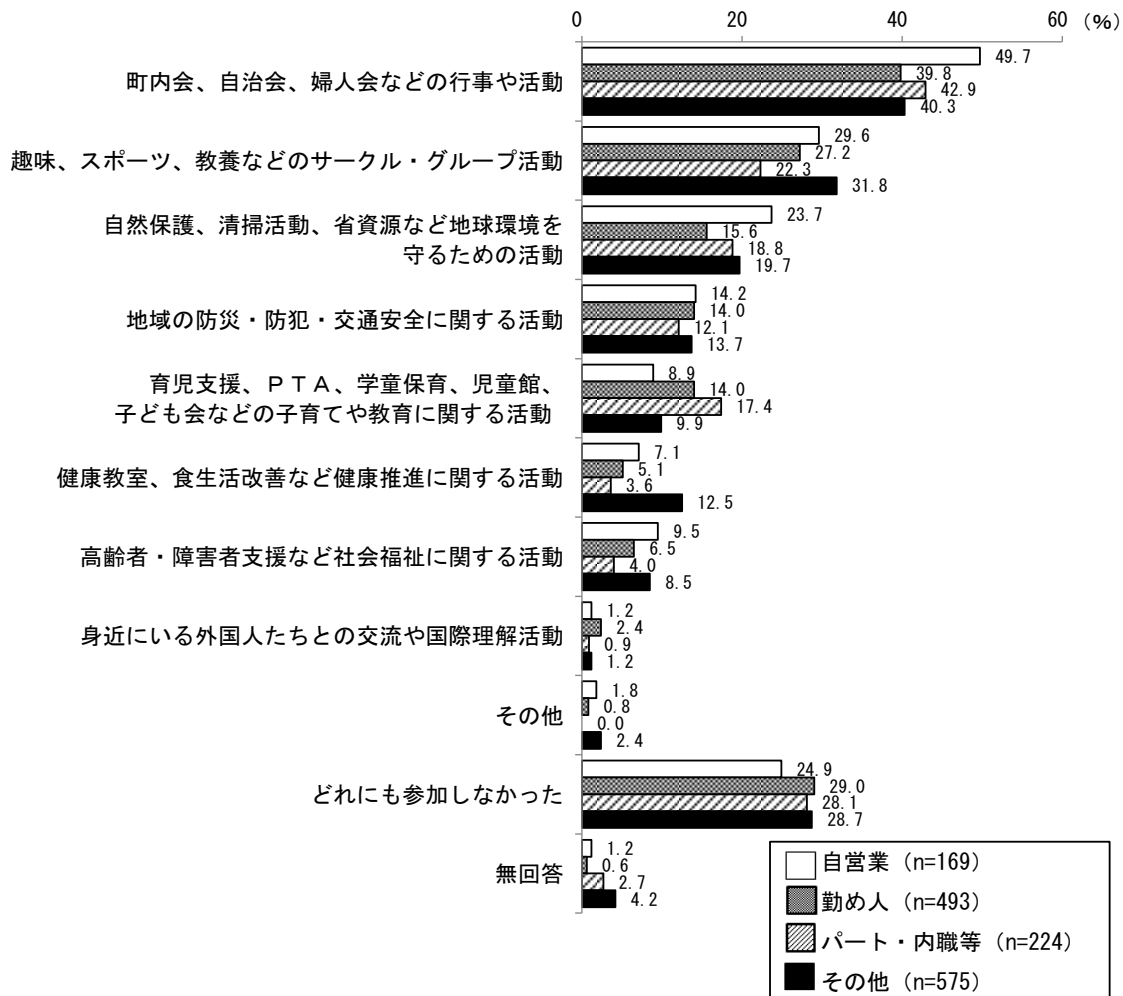
【図表 19-4 最近参加した地域活動（就労状況別）】



<職種別>

職種別で見ると、パート・内職等は他の職種と比べて、「育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育て支援や教育に関する活動」が最も高くなっている。

【図表 19-5 最近参加した地域活動（職種別）】

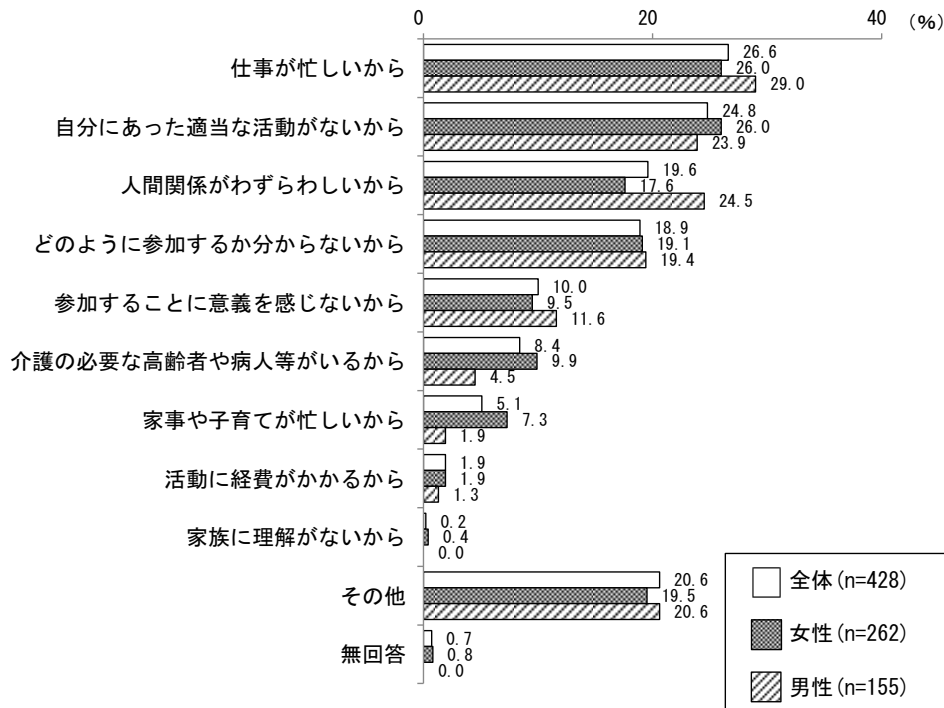


(8) 地域活動に参加しなかった理由

問 19 で、「10. どれにも参加しなかった」と答えた方のみお答えください。

問 20 どれにも参加しなかったのはなぜですか。【○印は2つまで】

【図表 20-1 地域活動に参加しなかった理由】



◆「仕事が忙しいから」、「自分にあった適当な活動がないから」、「人間関係がわずらわしいから」などが上位に

参加しなかった理由について、「仕事が忙しいから」が26.6%と最も高く、次いで「自分にあった適当な活動がないから」(24.8%)、「人間関係がわずらわしいから」(19.6%)などの順となっている。

性別にみると、「仕事が忙しいから」(女性：26.0% 男性：29.0%)は男性が女性を上回っており、「自分にあった適当な活動がないから」(女性：26.0% 男性：23.9%)は女性が男性を上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、女性 20 歳未満、20 代、60 歳以上、男性 20 歳未満、60 歳以上を除くすべての年代で「仕事が忙しいから」が最も高くなっている。また、多くの年代で「どのように参加するか分からないから」、「自分にあった適切な活動がないから」も上位に入っている。

【図表 20-2 地域活動に参加しなかった理由（性・年齢別）】

(単位: %)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	自分にあった適切な活動がないから	66.7	どのように参加するか分からないから	50.0	人間関係がわずらわしいから	33.3
	20代	自分にあった適切な活動がないから	35.7	どのように参加するか分からないから	32.1	仕事が忙しいから	28.6
	30代	仕事が忙しいから	37.8	どのように参加するか分からないから	27.0	家事や子育てが忙しいから	18.9
	40代	仕事が忙しいから	37.9	自分にあった適切な活動がないから	31.0	どのように参加するか分からないから	20.7
	50代	仕事が忙しいから	38.5	自分にあった適切な活動がないから	23.1	どのように参加するか分からないから 人間関係がわずらわしいから	17.3
	60歳以上	その他	31.8	自分にあった適切な活動がないから	24.5	人間関係がわずらわしいから	20.0
男性	20歳未満	どのように参加するか分からないから	50.0	自分にあった適切な活動がないから その他			20.5
	20代	仕事が忙しいから	33.3	どのように参加するか分からないから 人間関係がわずらわしいから			27.8
	30代	仕事が忙しいから	45.0	どのように参加するか分からないから 参加することに意義を感じないから			25.0
	40代	仕事が忙しいから 自分にあった適切な活動がないから			33.3	どのように参加するか分からないから 人間関係がわずらわしいから	29.6
	50代	仕事が忙しいから	60.9	自分にあった適切な活動がないから	30.4	その他	21.7
	60歳以上	その他	33.3	人間関係がわずらわしいから	27.0	自分にあった適切な活動がないから	23.8

<地域別>

備前県民局管内、美作県民局管内は「仕事が忙しいから」が最も高く、備中県民局管内は「自分にあつた適切な活動がないから」が最も高くなっている。

【図表 20-3 地域活動に参加しなかった理由（地域別）】

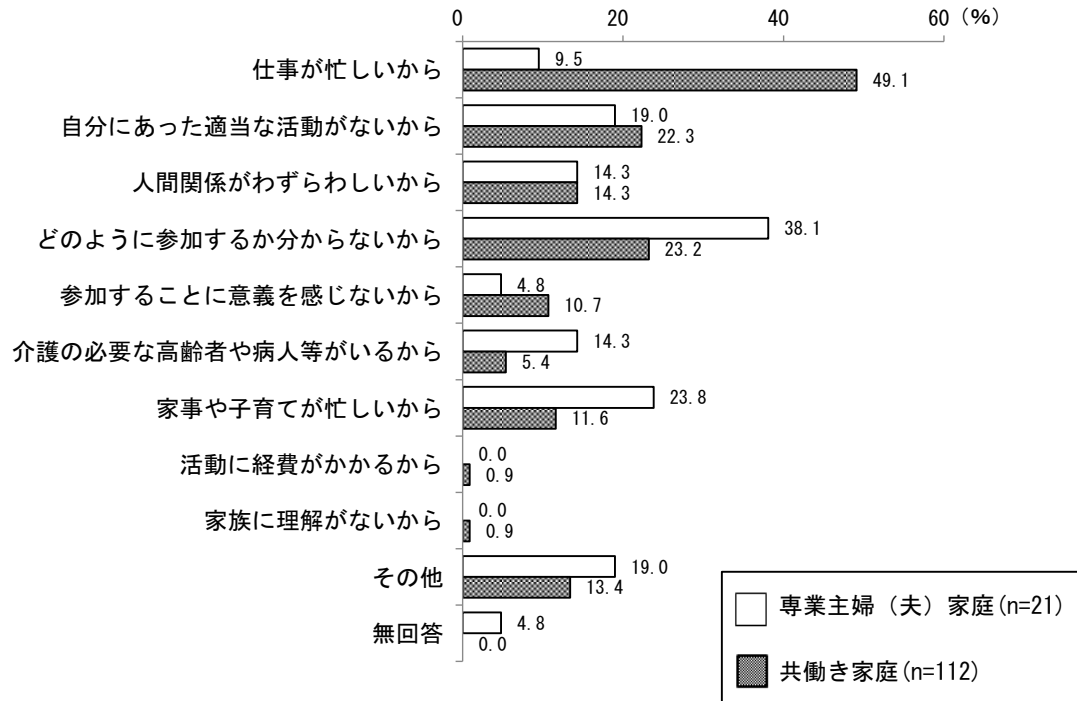
(単位: %)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	仕事が忙しいから	25.5	自分にあつた適切な活動がないから	28.2	仕事が忙しいから	31.6
2位	どのように参加するか分からないから	23.6	仕事が忙しいから	25.9	その他	26.3
3位	自分にあつた適切な活動がないから	22.6	その他	21.3	自分にあつた適切な活動がないから	23.7

<就労状況別>

就労状況別にみると、専業主婦（夫）家庭は共働き家庭と比べて、「どのように参加するか分からないから」が14.9ポイント高くなっており、「仕事が忙しいから」が39.6ポイント低くなっている。

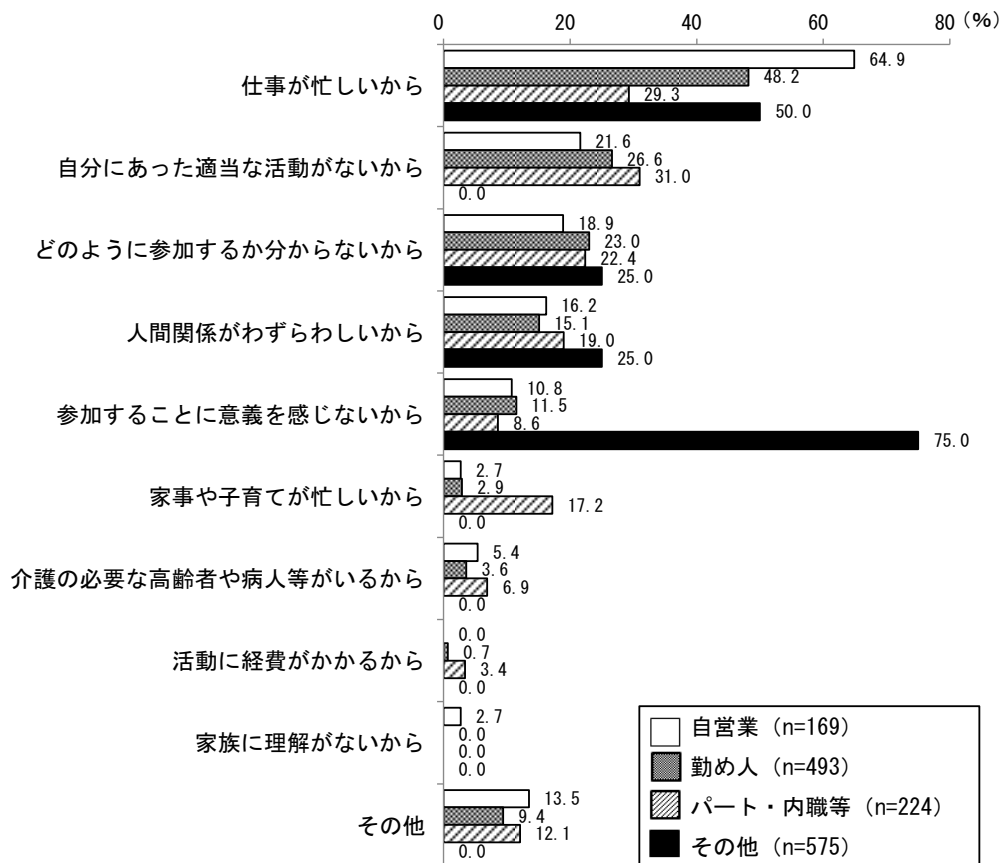
【図表 20-4 地域活動に参加しなかった理由（就労状況別）】



<職種別>

職種別で見ると、パート・内職等は他の職種と比べて、「家事や子育てが忙しいから」が14ポイント以上高くなっている。

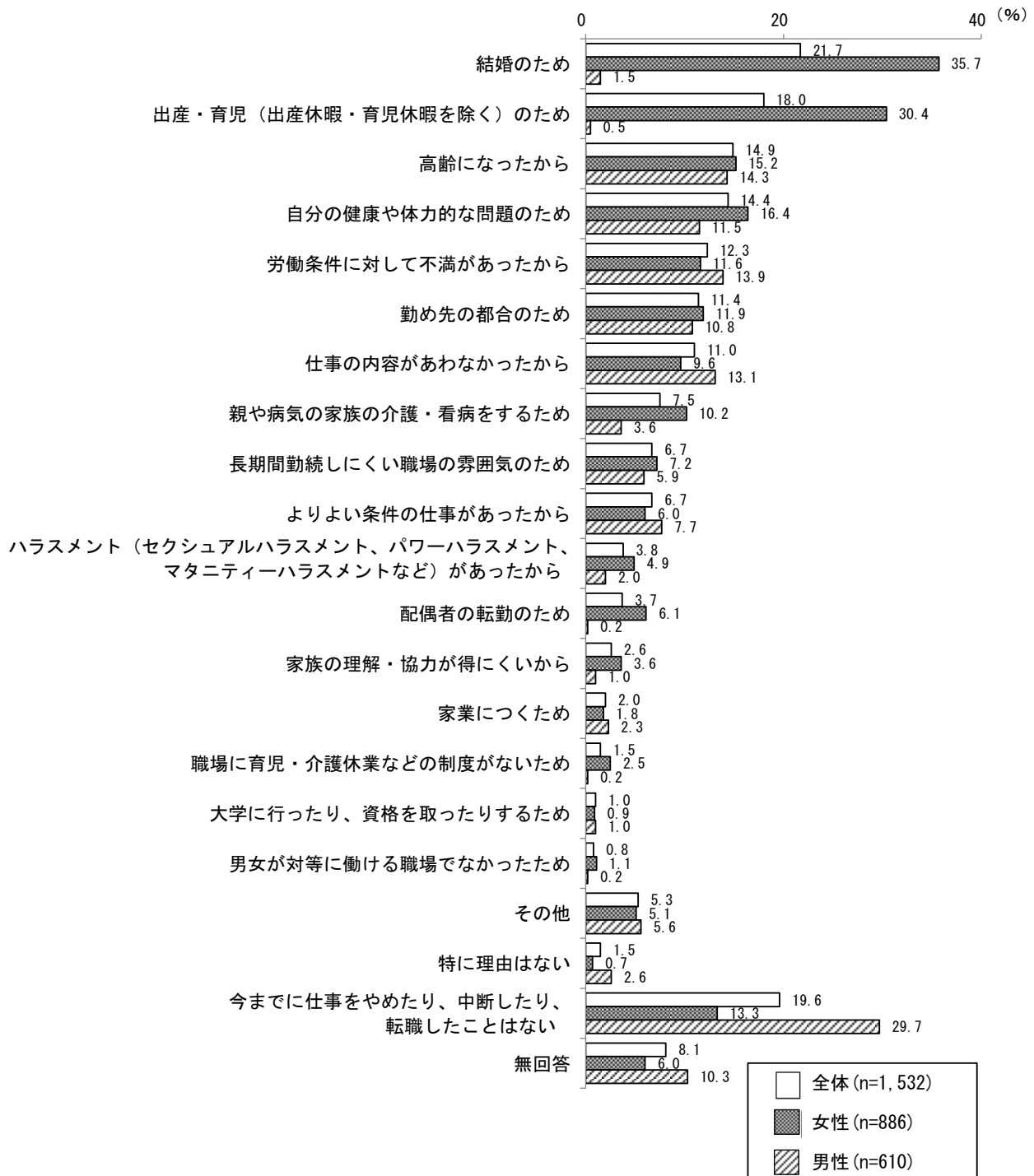
【図表 20-5 地域活動に参加しなかった理由（職種別）】



(9) 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由

問 21 あなたは、仕事をやめたり、中断したり、あるいは転職したことがありますか。あるとすれば、その理由は何ですか。【○印はいくつでも】

【図表 21-1 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由】



◆「結婚のため」、「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」で男女に大きな差、「親や病気の家族の介護・看病をするため」も女性で1割を超える

仕事をやめたり、中断したり、転職した理由について、「結婚のため」が21.7%と最も高く、次いで「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」（18.0%）、「高齢になったから」（14.9%）などの順となっている。

性別にみると、「結婚のため」（女性：35.7%、男性：1.5%）は34.2ポイント、「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」（女性：30.4%、男性：0.5%）は29.9ポイント、「親や病気の家族の介護・看病をするため」（女性：10.2%、男性：3.6%）は6.6ポイントの差で女性が男性を上回っている。一方、「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」は男性（29.7%）が女性（13.3%）を16.4ポイント上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、女性は、すべての年代で「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」、「結婚のため」が上位に入っている。男性は、60歳以上を除くすべての年代で「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」が最も高く、次いで男性20代から50代では「労働条件に対して不満があったから」などの順となっている。

【図表 21-2 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（性・年齢別）】

（単位：％）

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	64.3	その他	14.3	結婚のため 出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため 長期間勤務しにくい職場の雰囲気のため 労働条件に対して不満があったから 仕事の内容があわなかったから	7.1
	20代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	50.0	労働条件に対して不満があったから	19.6	結婚のため	16.1
	30代	出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため	38.2	結婚のため	22.5	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	21.3
	40代	出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため	45.9	結婚のため	34.9	労働条件に対して不満があったから	15.8
	50代	結婚のため	45.5	出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため	39.0	自分の健康や体力的な問題のため	22.7
	60歳以上	結婚のため	38.9	高齢になったから	31.1	出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため	23.6
男性	20歳未満	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	46.7	その他	20.0		
	20代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	48.7	労働条件に対して不満があったから	25.6	仕事の内容があわなかったから	20.5
	30代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	40.0	労働条件に対して不満があったから	22.0	仕事の内容があわなかったから	12.0
	40代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	31.8	労働条件に対して不満があったから	18.2	よりよい条件の仕事があったから	17.0
	50代	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	34.0	労働条件に対して不満があったから	19.1	仕事の内容があわなかったから	17.0
	60歳以上	高齢になったから	26.9	今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない	23.1	仕事の内容があわなかったから	12.0

<地域別>

すべての地域で「結婚のため」が最も高く、次いで「今までに仕事をやめたり、中断したり、転職したことはない」などの順となっている。

【図表 21-3 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（地域別）】

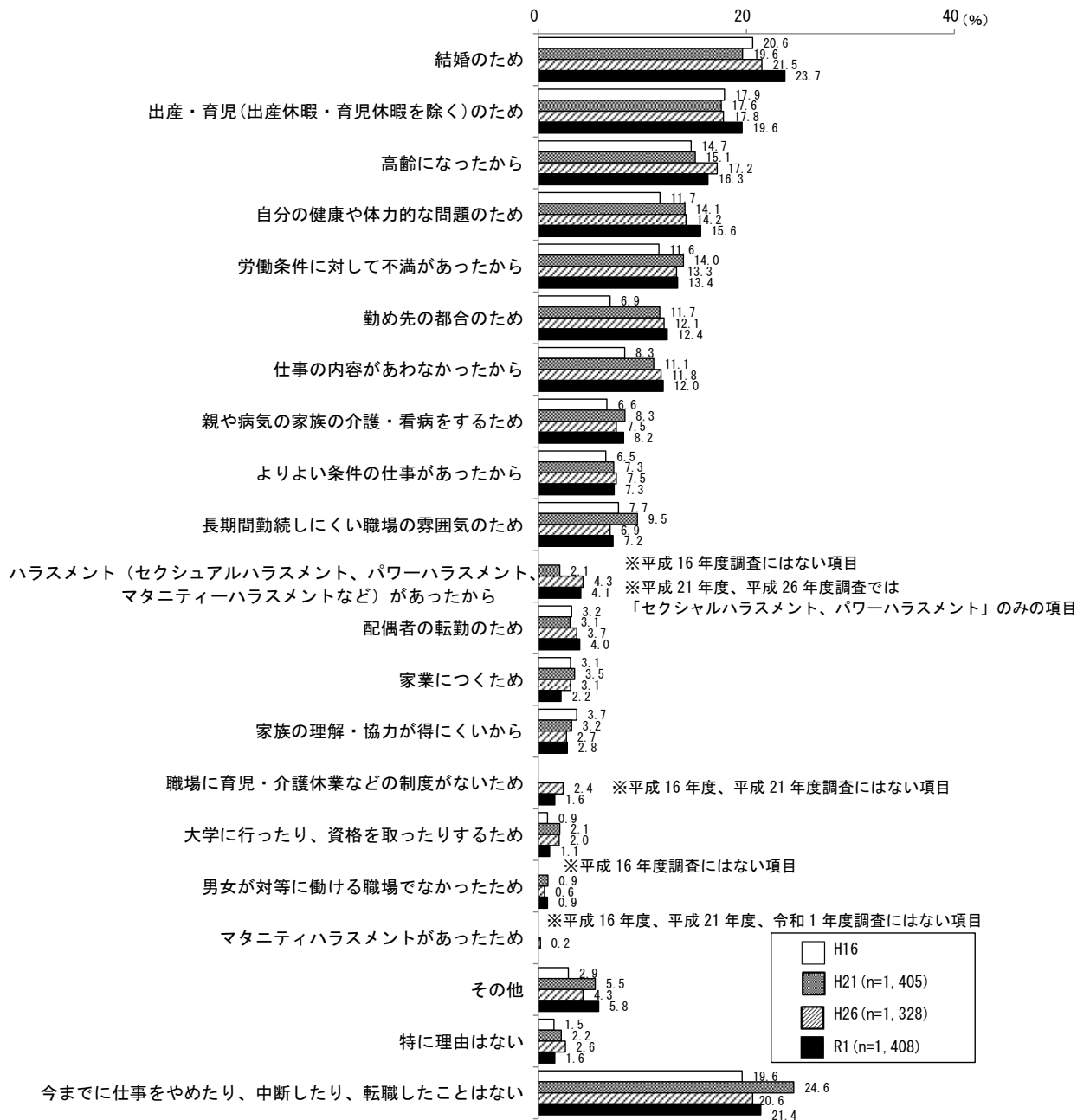
(単位:%)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	結婚のため	21.8	結婚のため	21.3	結婚のため	24.0
2位	今までに仕事をやめたり、 中断したり、転職したことはない	21.5	今までに仕事をやめたり、 中断したり、転職したことはない	17.9	今までに仕事をやめたり、 中断したり、転職したことはない	19.7
3位	出産・育児(出産休暇・育児 休暇を除く)のため	18.4	高齢になったから	17.4	出産・育児(出産休暇・育児 休暇を除く)のため	18.6

<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、H16 年度調査から今回調査にかけて、「結婚のため」が最も高く、次いで「出産・育児（出産休暇・育児休暇を除く）のため」、「高齢になったから」などの順となっている。

【図表 21-4 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由（過去の調査との比較）】



※数値を比較するため、無回答を除いて集計しています。